

金ケ崎町北部地区 まちづくりアンケート 分析レポート

～結果から何が見えてくるか？～

平成31年3月

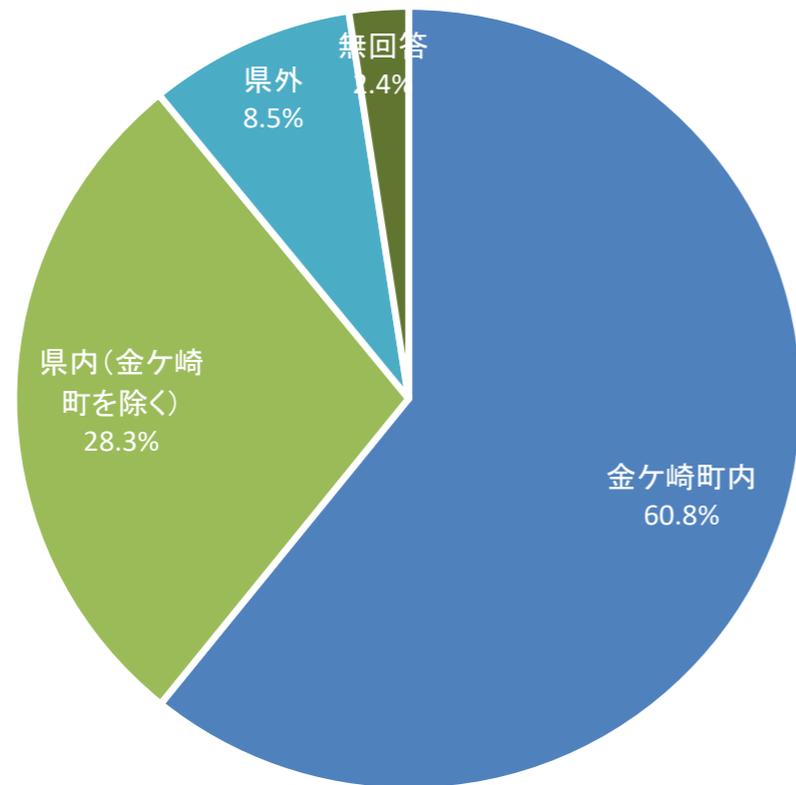
NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター

中学生以上の全住民アンケートの実施

配布数：1,911通

回収数：1,689通

回収率：**71.8%**



回答者属性 (出身地別)

かなりの高回収率！



地域住民の意向がしっかりと
反映されているデータである

北部地区 まちづくりアンケート

～皆さんの声を聞かせてください～

北部地域活性化委員会では、地域で暮らす皆さんから、日頃思っていることやご意見をお聞きし、これからもみんなで暮らしやすい地域にする仕組みを検討するため、中学生以上全員を対象としたアンケートを行うことにしました。
皆さんが日ごろ感じていること、思っていることをそのままお聞かせください。

※回答は無記名をお願いします。

※回答は、個人を特定しない形で集計し、北部地区の地域づくりを考える資料として使用します。

※アンケートは、中学生以上の方、一人一人がお答えください。

回答後は、一人ずつ同封の「返信用封筒」にアンケート用紙を入れ、封をしてください。
封をした「返信用封筒」を各世帯に配布している封筒（北部地区まちづくりアンケートと印字された封筒）に入れ、班長に提出してください。

問い合わせ：北部地域活性化委員会事務局（北部地区生涯教育センター）
TEL：0197-43-3038

問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるものに○をつけてください。

(年齢)	1. 13～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上

(性別)	男性	・	女性
------	----	---	----

問2 あなたの出身地はどこですか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 町内	2. 県内(金ヶ崎町を除く)	3. 県外
-------	----------------	-------

問3 あなたの仕事にあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 農業	2. 林業	3. 漁業
4. 自営業	5. 会社員	6. 公務員・団体職員
7. パート・アルバイト	8. 専業主婦(夫)	9. 中学生
10. 高校生・高専生	11. 大学生・短大生・専門学校生	
12. その他()	13. 無職	

問4 あなたの勤務形態(学生は登下校時間)にあてはまるもの1つに○をつけてください。

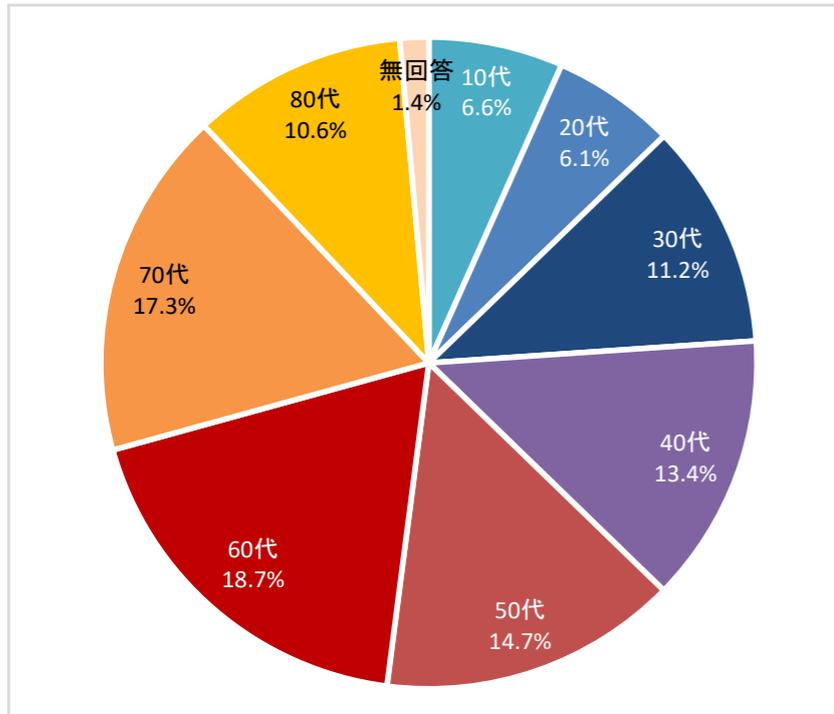
1. 日勤	2. 夜勤	3. 日勤と夜勤の交代勤務	4. その他()
-------	-------	---------------	-----------

※日勤はおおむね午前7時～午後7時の間 夜勤はおおむね午後5時～午前8時の間

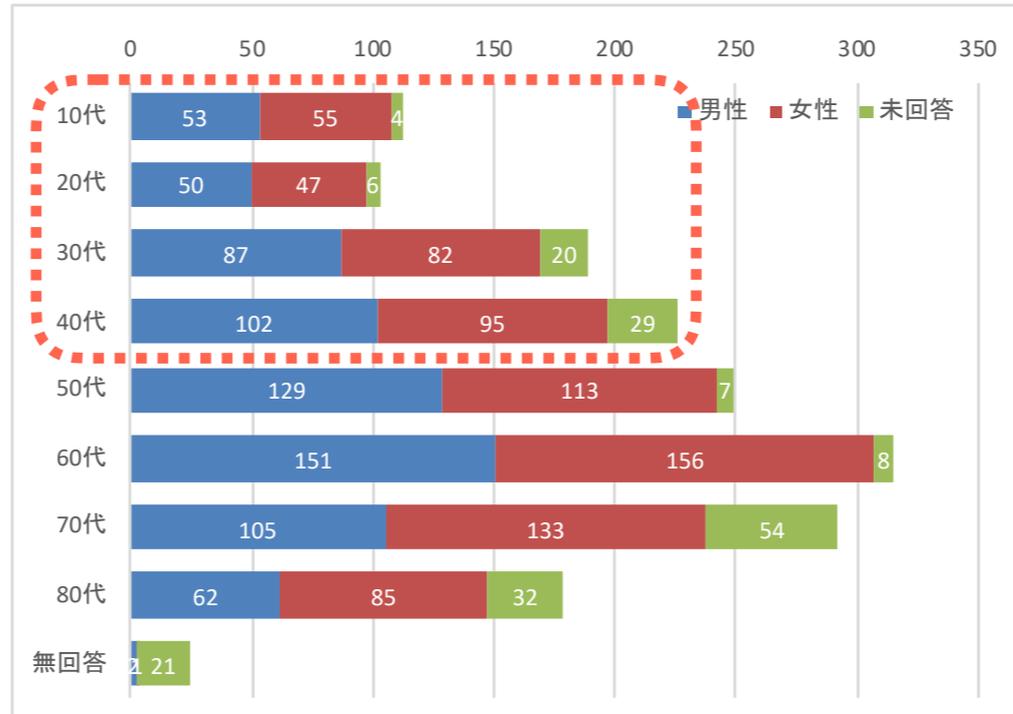
回答者属性

金ヶ崎町北部地区 (2019)

回答者属性 (年代別)



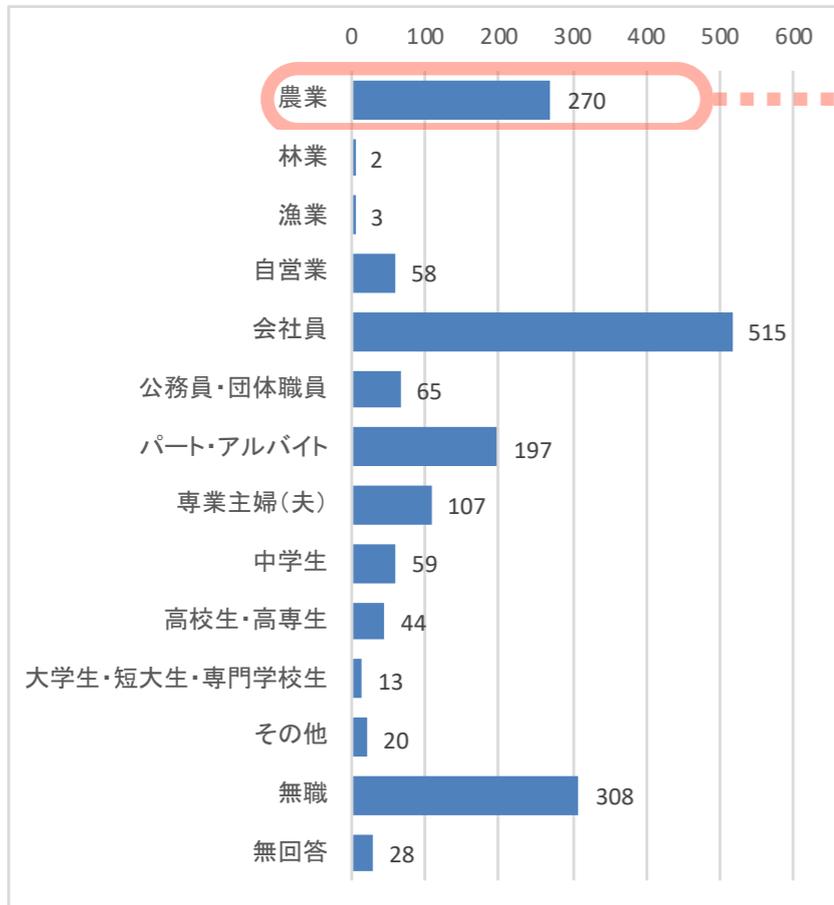
回答者属性 (年代別×男女別)



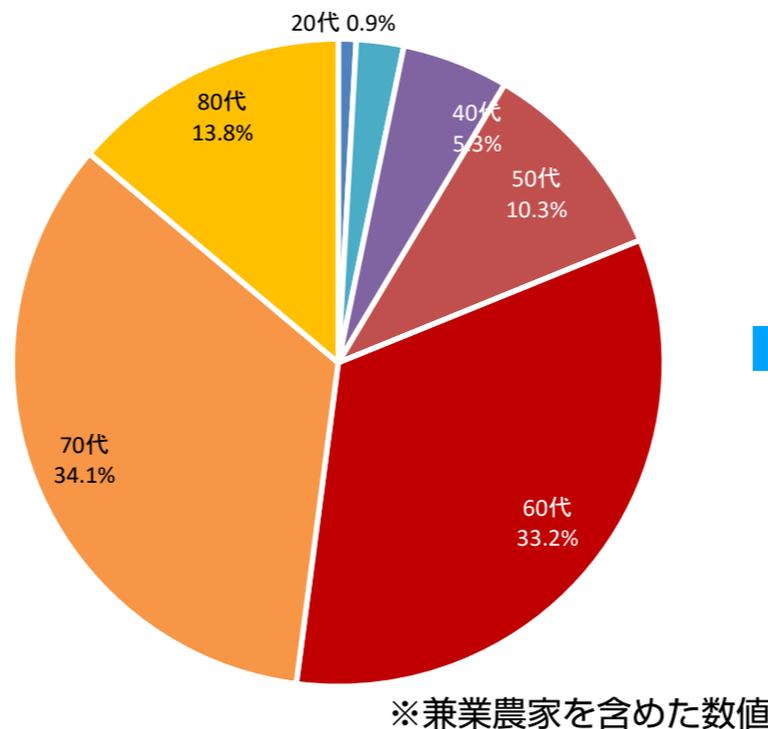
若者・中堅世代は少数派。多数決では年配層には叶わない。



世代別に意見をまとめないで埋没してしまう!



農業従事者の年代構成 (割合)



農業従事者の年代構成 (人数)

年代	人数
10代	0
20代	3
30代	8
40代	18
50代	35
60代	113
70代	116
80代	47
年代無回答	1
計	341

農地の維持管理はどうなりますか?

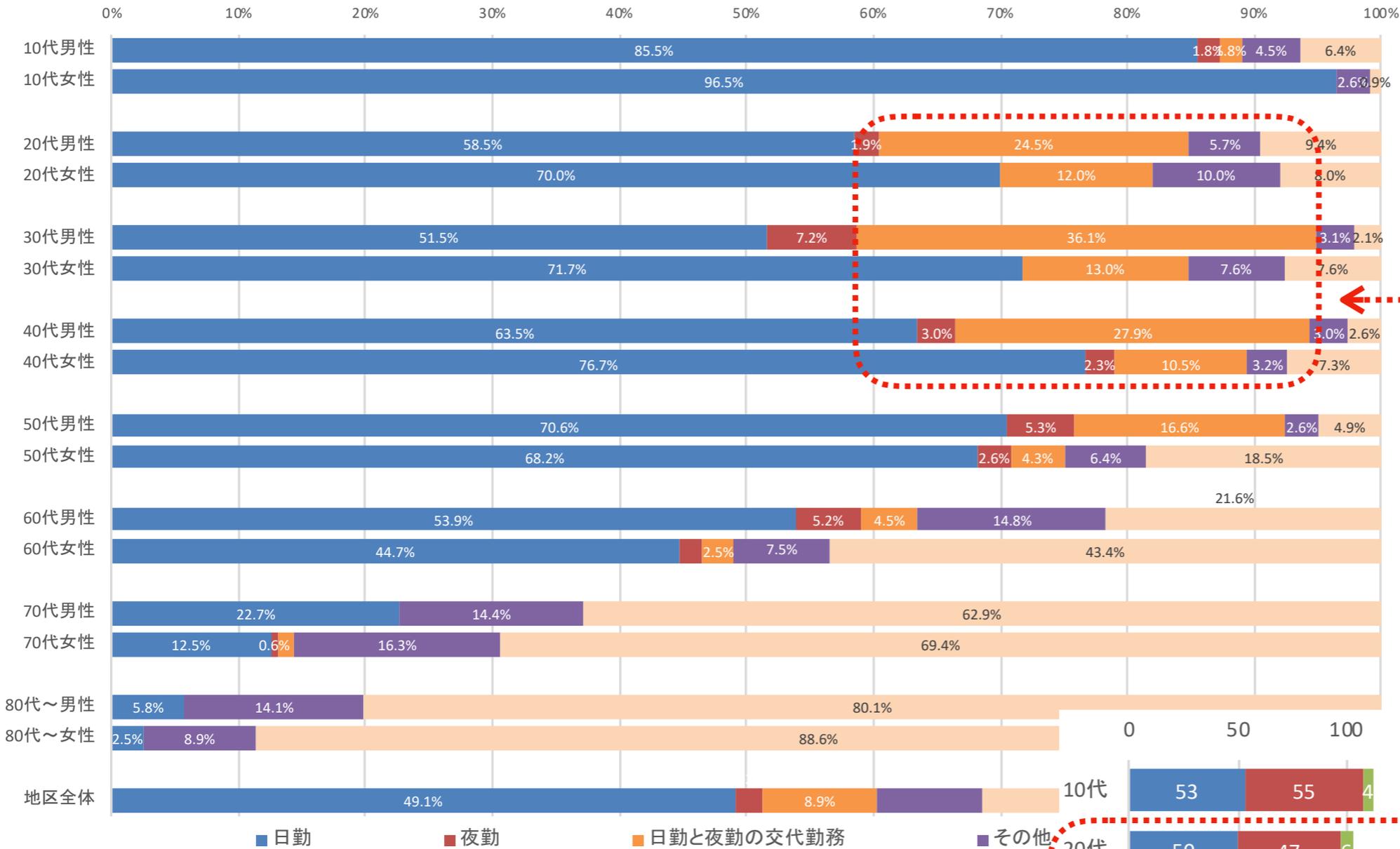
回答者属性 (職業)

農業従事者の80.9%が60代以上

20年後は120人程度!?

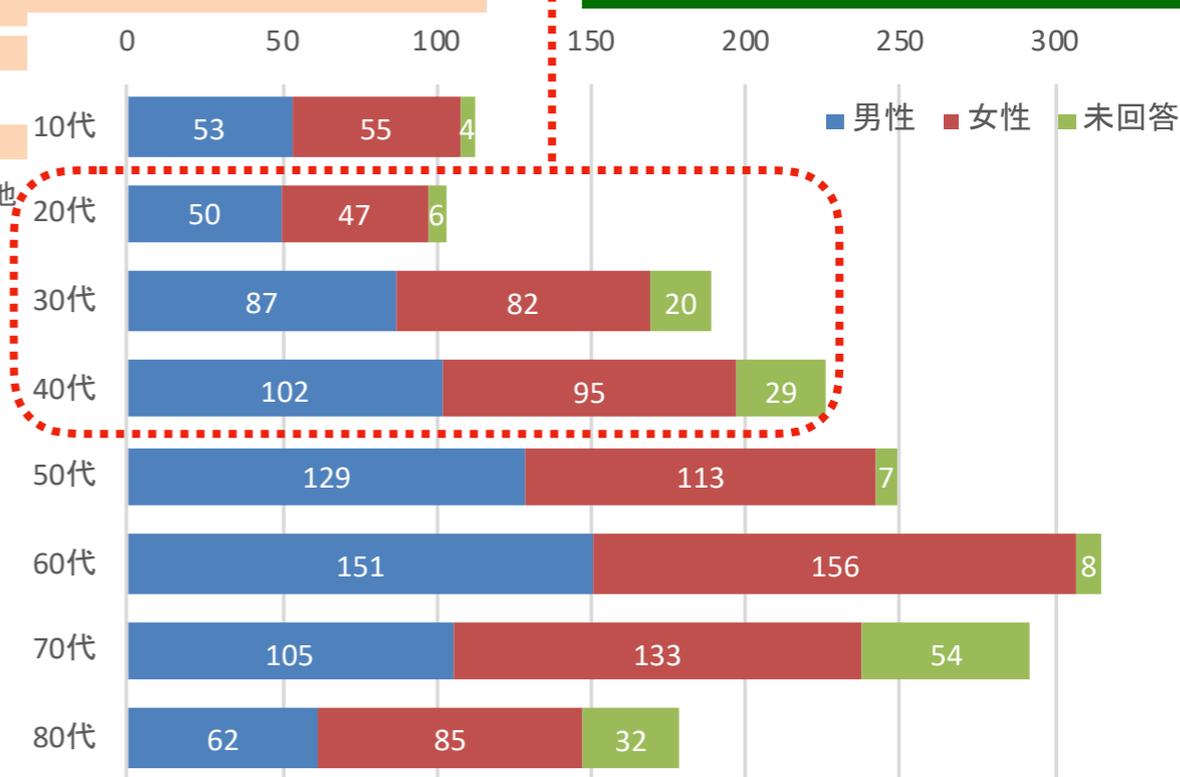
勤務形態（年代別×男女別）

金ヶ崎町北部地区（2019）



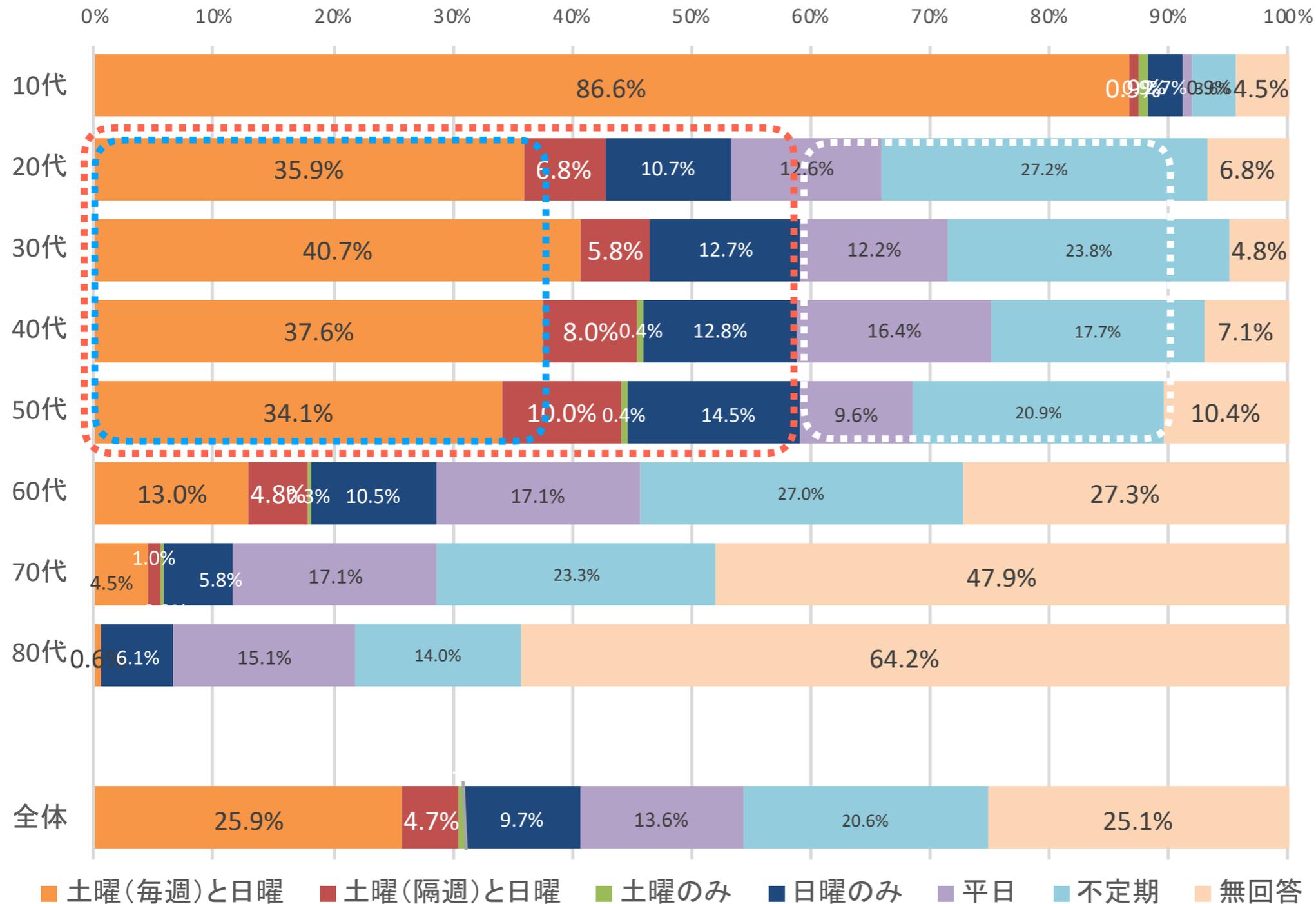
20～40代の約3割が
日勤と夜勤の交代勤務

回答者属性（年代構成）



休日はいづか？（年代別）

金ヶ崎町北部地区（2019）



20~50代

土曜日が毎週休み
約3~4割

日曜日が毎週休み
約6割

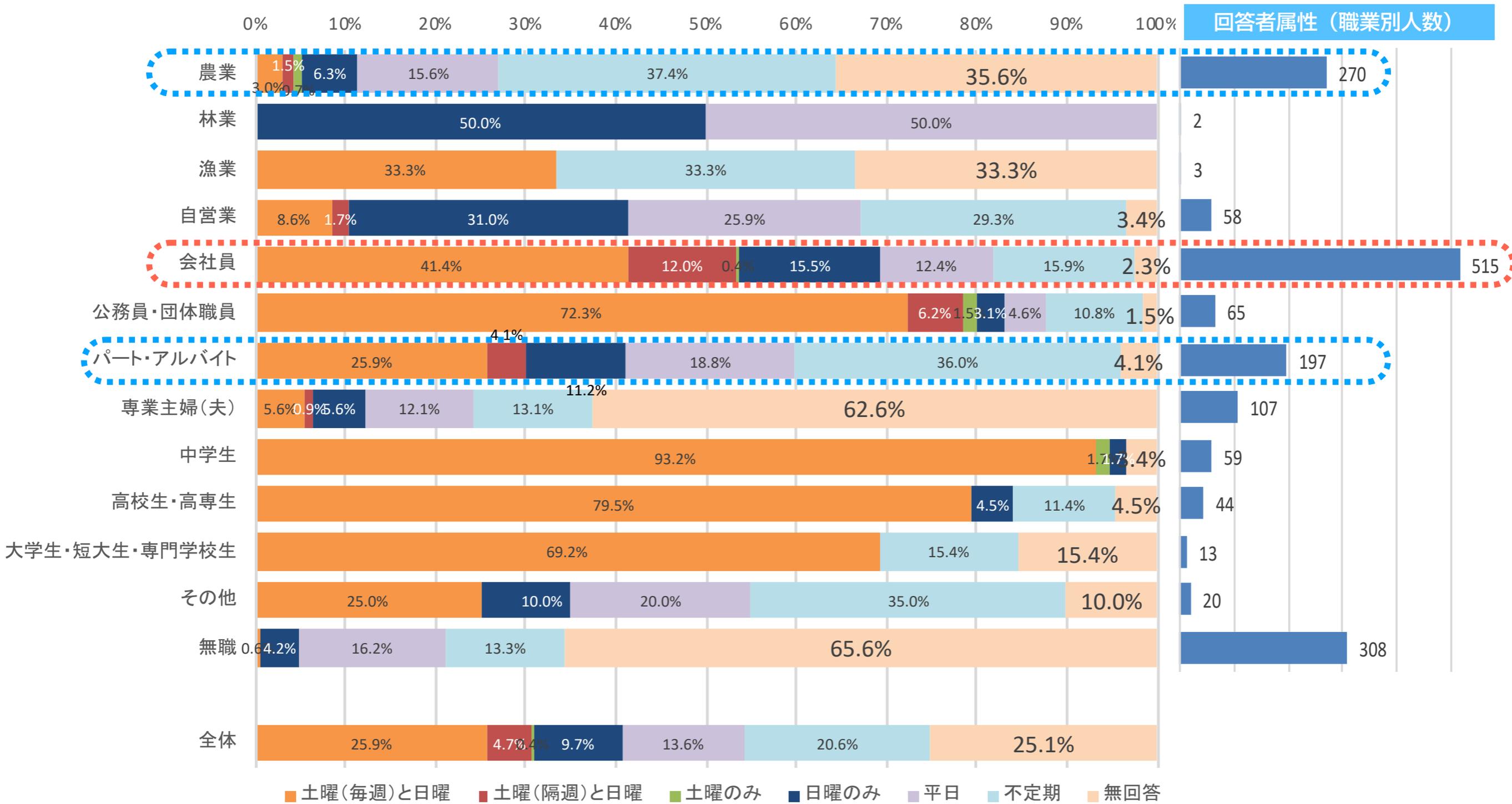
休みが平日・不定期
約3割

この世代の参加を求めるのであれば、配慮が必要！



休日はいづか？（職業別）

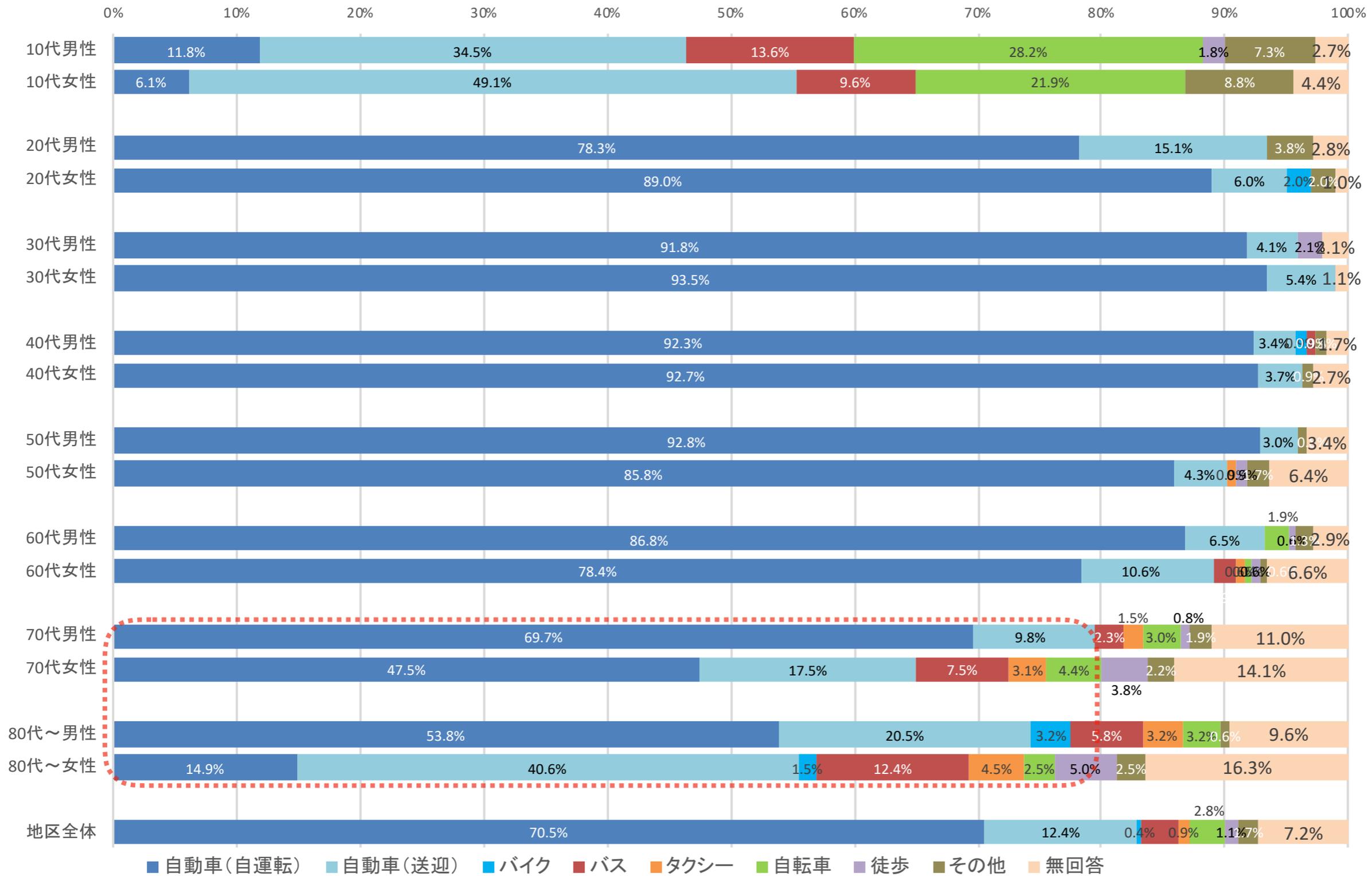
金ヶ崎町北部地区（2019）



当たり前ではあるが職業によって休日は異なる → 行事・共同作業の曜日設定に配慮が必要

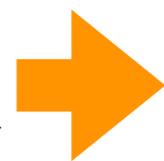
年代別・男女別の日常的な交通手段

金ヶ崎町北部地区 (2019)

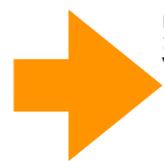


将来的に送迎する側の人数が減少すると・・・
日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加する

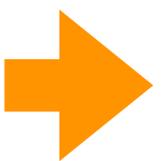
70代になると自分で車の運転をする人の割合が減少



送迎の割合が増加 (特に80代)



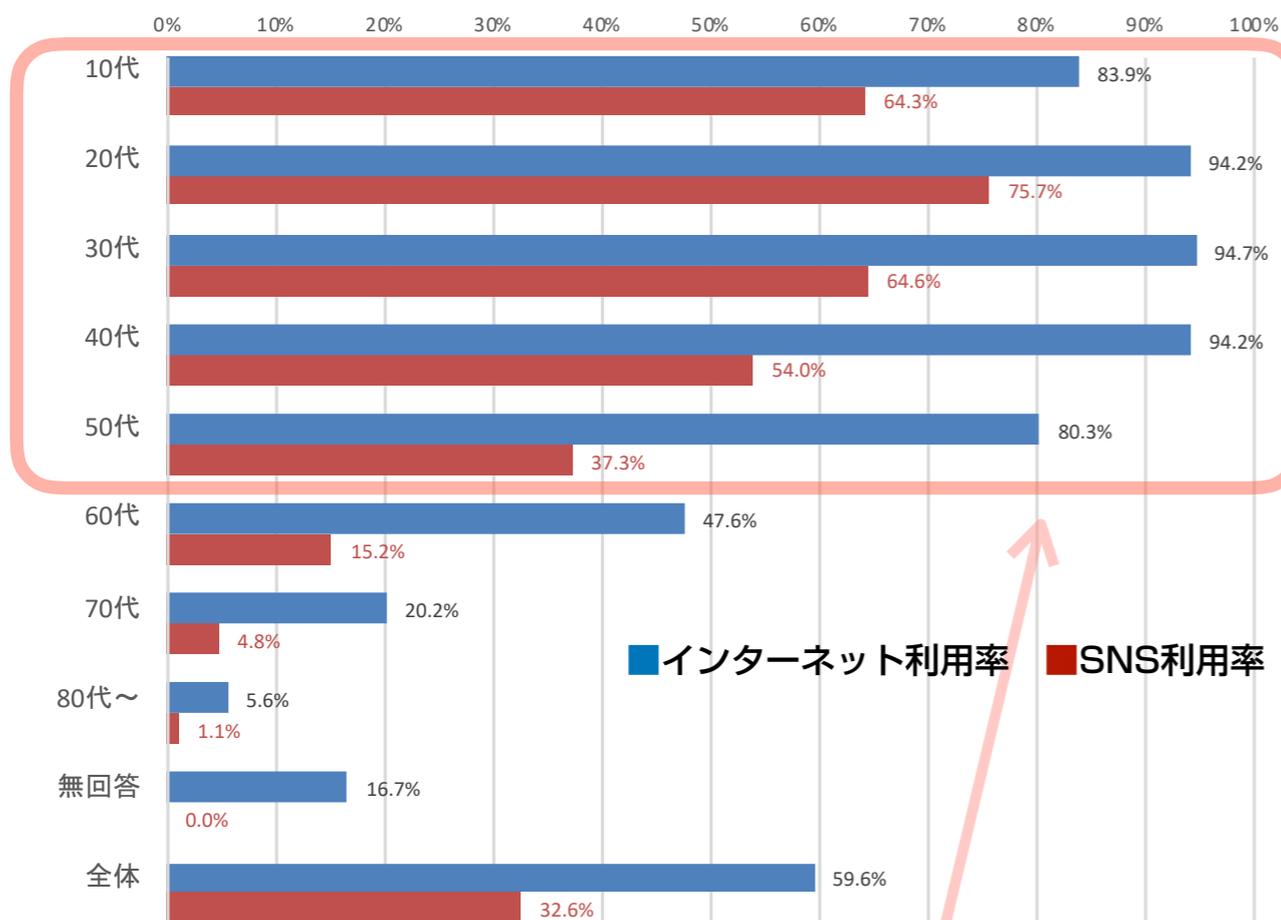
家族の送迎で高齢者の交通手段が賄われている



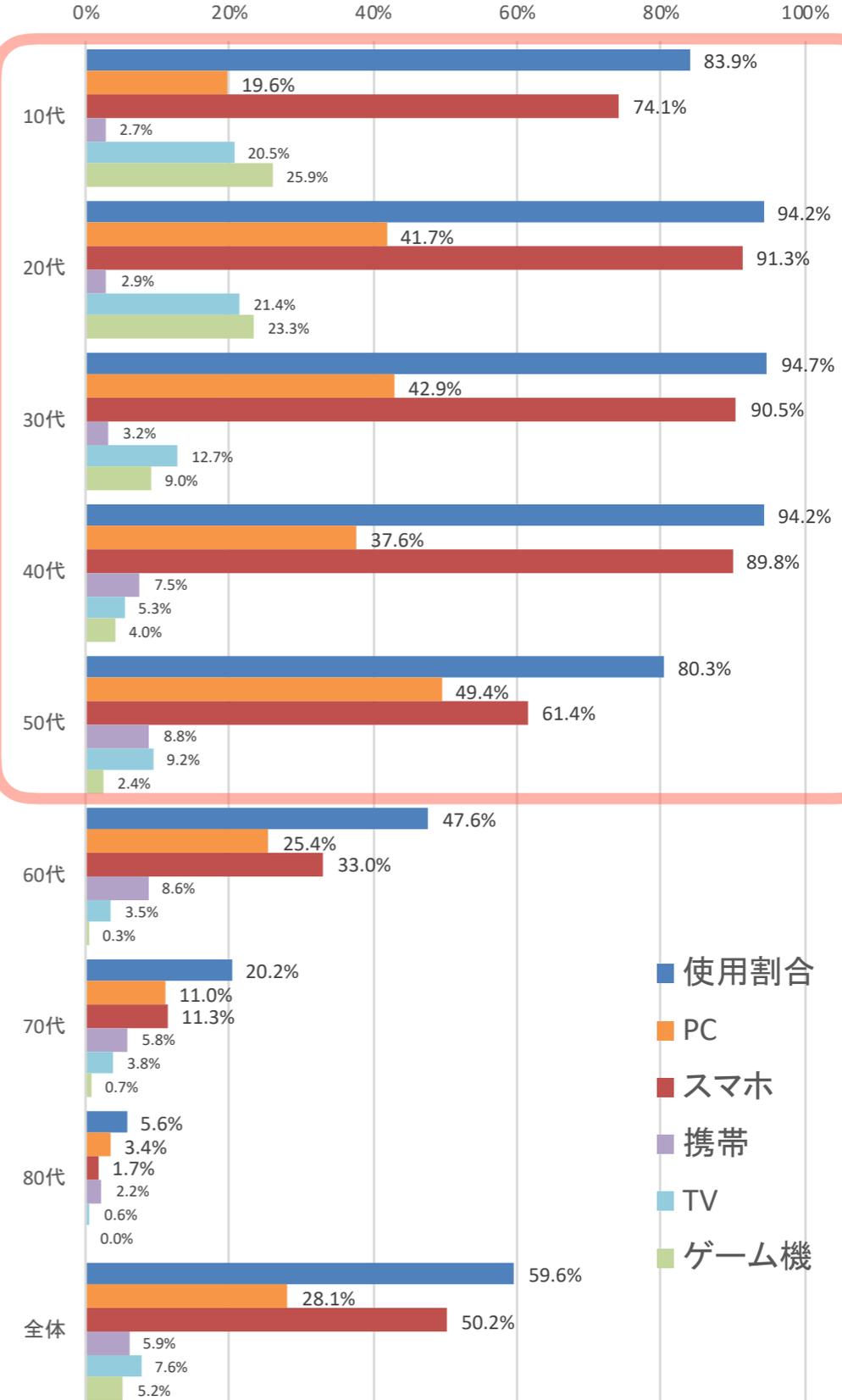
インターネットの利用割合

金ヶ崎町北部地区 (2019)

年代別インターネットの利用率



年代別インターネット利用における使用機器

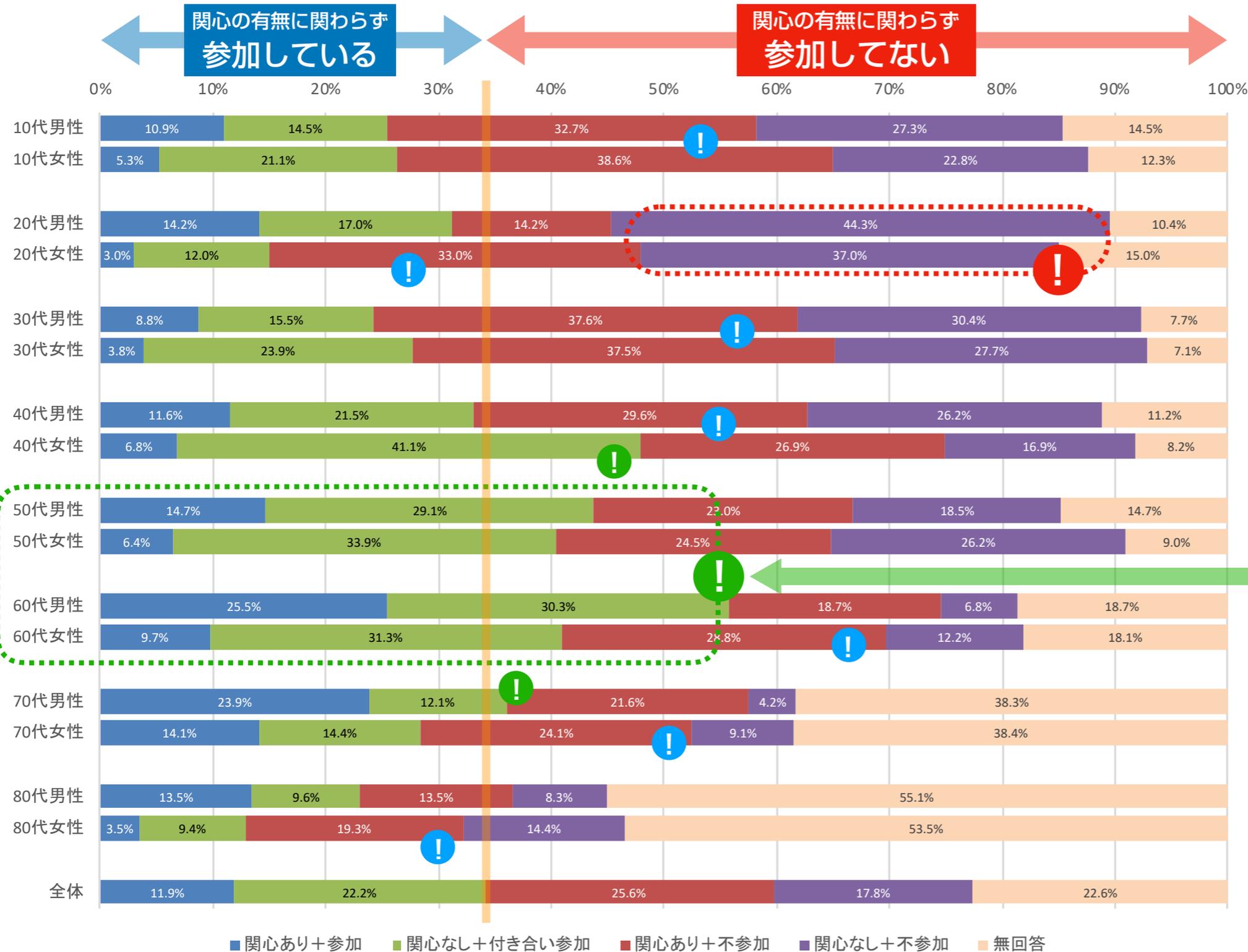


- 全体の6割がインターネットを利用。
- **40代以下は約9割以上**がインターネットを利用。
(50代でも8割)
- **大半がスマホ・携帯**で利用している。
- インターネット利用者の**半数以上がSNS**を利用。

50代以下はインターネット経由での情報伝達の方が効果的?!

地域活動への関心（年代別・男女別）

金ヶ崎町北部地区（2019）



【注意！】
 若年・中堅層は
 関心なし+不参加の割合が
 高い。
 【20代】 男性44.3%/女性37.0%
 【30代】 男性30.4%/女性27.7%
 【10代】 男性27.3%/女性22.8%

現状は
 40代女性
 50~60代
 70代男性
 が頑張っているので回っている。

若年・中堅層の1/3以上が
 関心あり+不参加。
 【10代】 男性32.7%/女性38.6%
 【20代】 女性33.0%
 【30代】 男性37.6%/女性37.5%
 【40代】 男性29.6%/女性26.9%

50~70代女性は1/4が
 関心あり+不参加。

必ずしも「地域活動に参加していない=関心が無い」という訳ではない

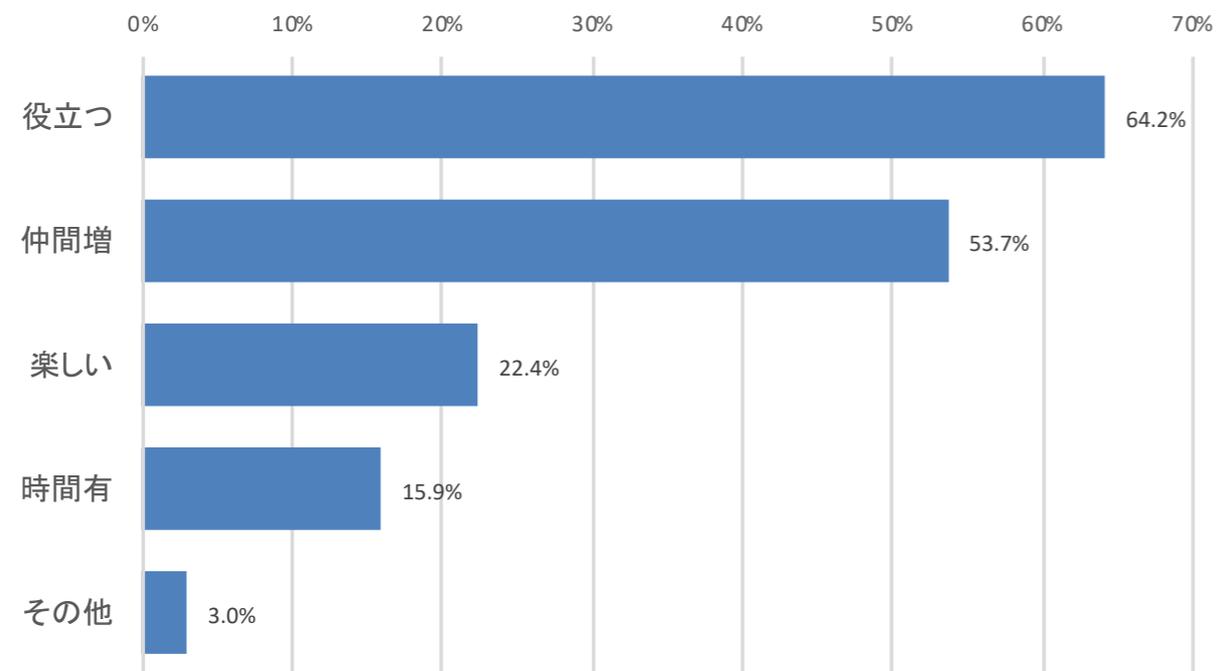
「関心があっても参加していない」割合が高い世代には、その理由を探ることが大切！



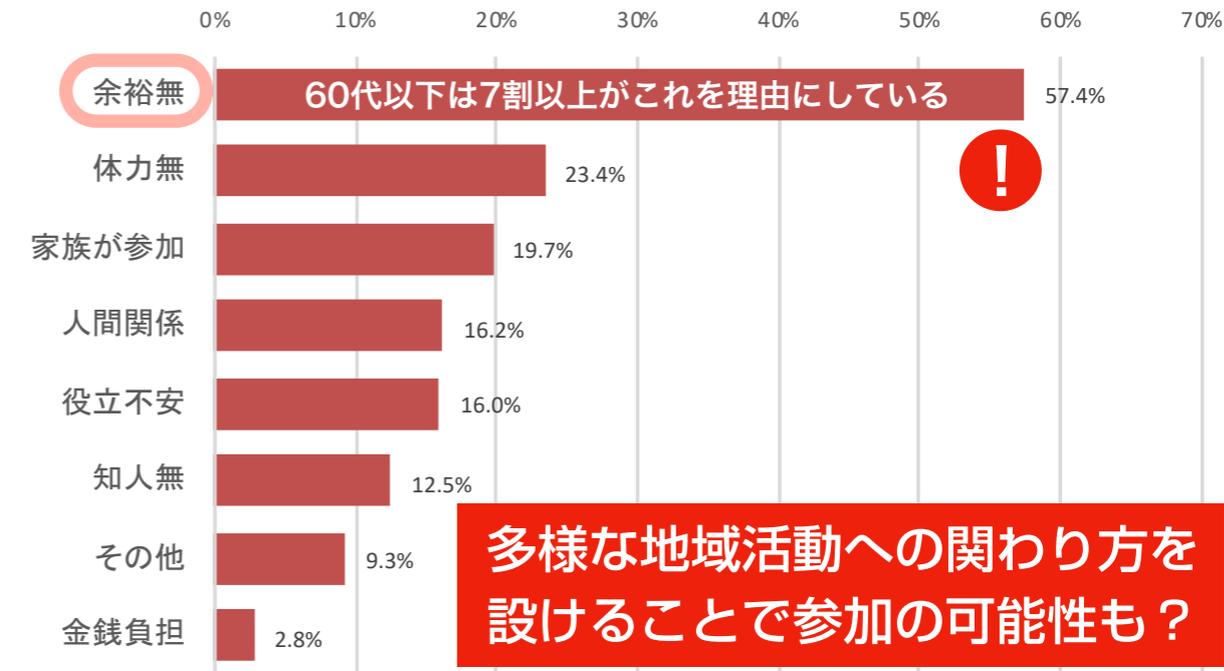
地域活動への関心 (それぞれの理由) ※複数回答

金ヶ崎町北部地区 (2019)

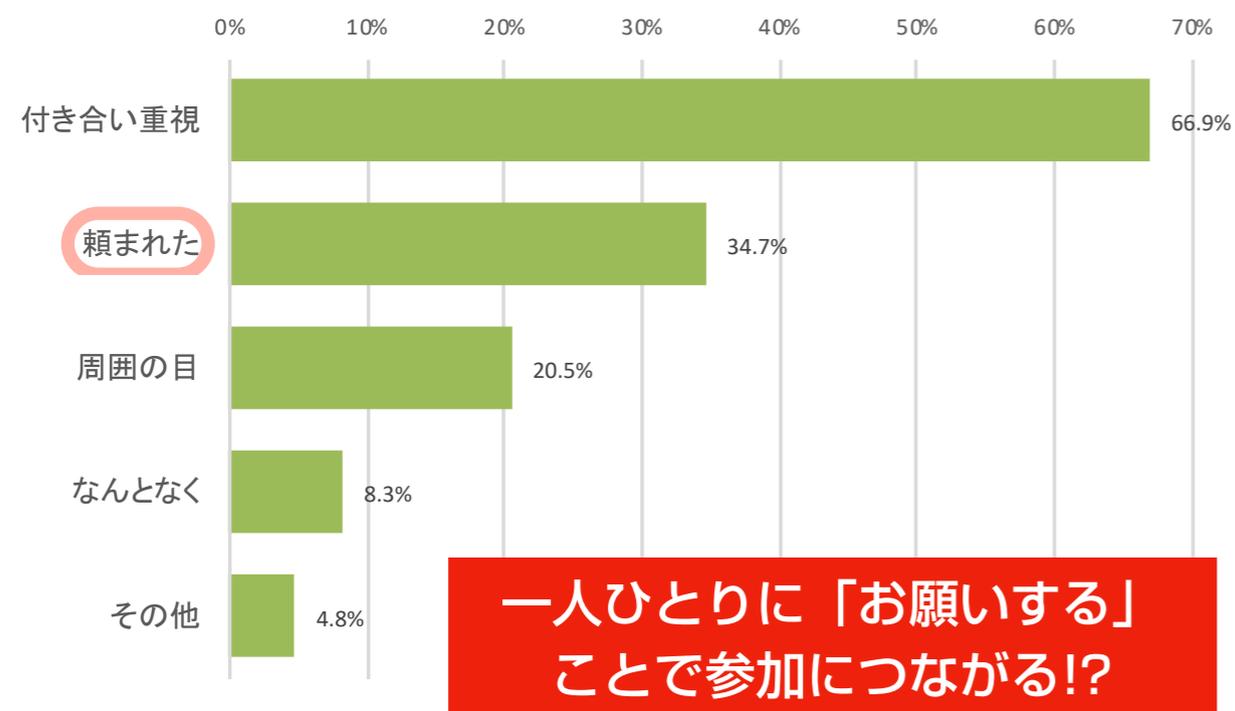
関心あり+参加の理由 (回答数201)



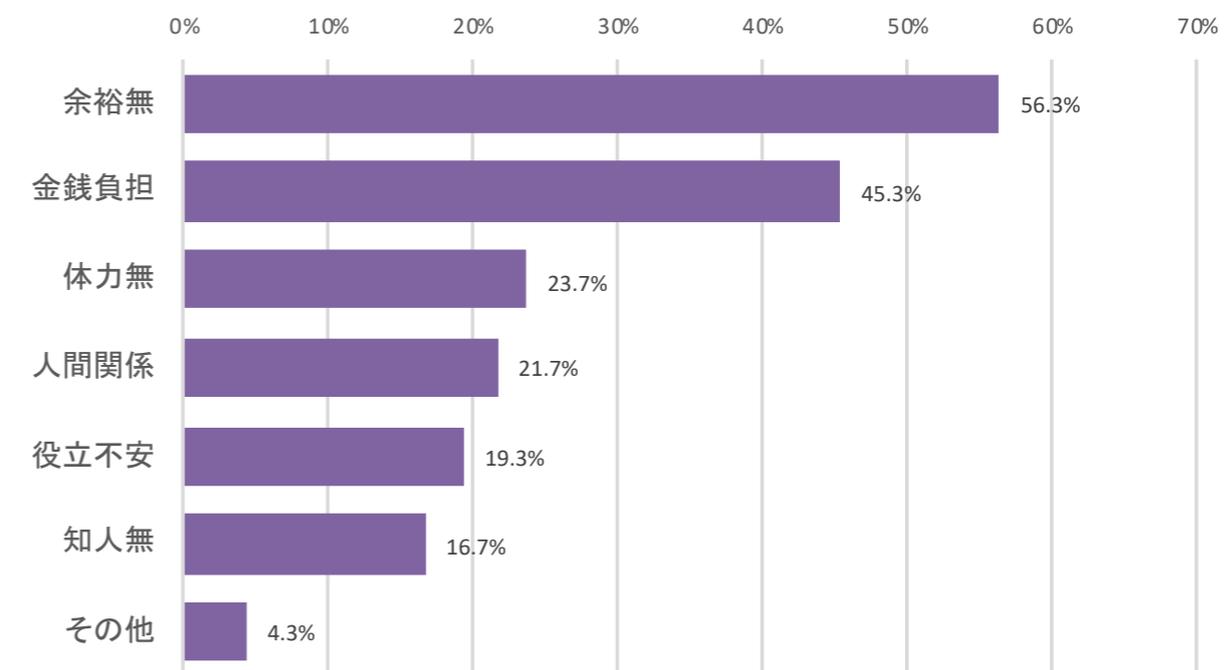
関心あり+不参加の理由 (回答数432)



関心なし+付き合い参加の理由 (回答数375)

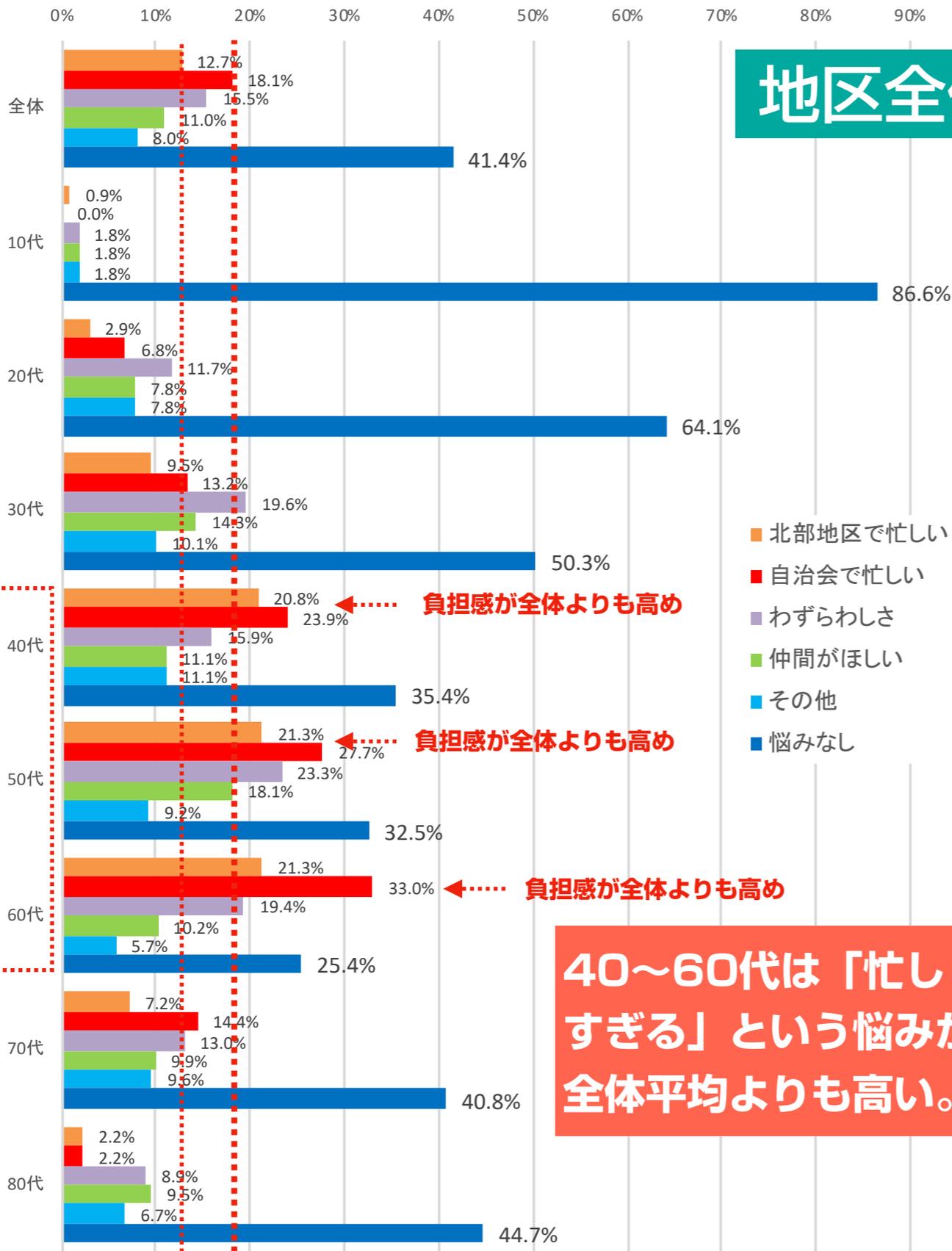


関心なし+不参加の理由 (回答数300)



近所づきあいでの悩み（年代別）

金ヶ崎町北部地区（2019）



地区全体では4割が「悩みなし」

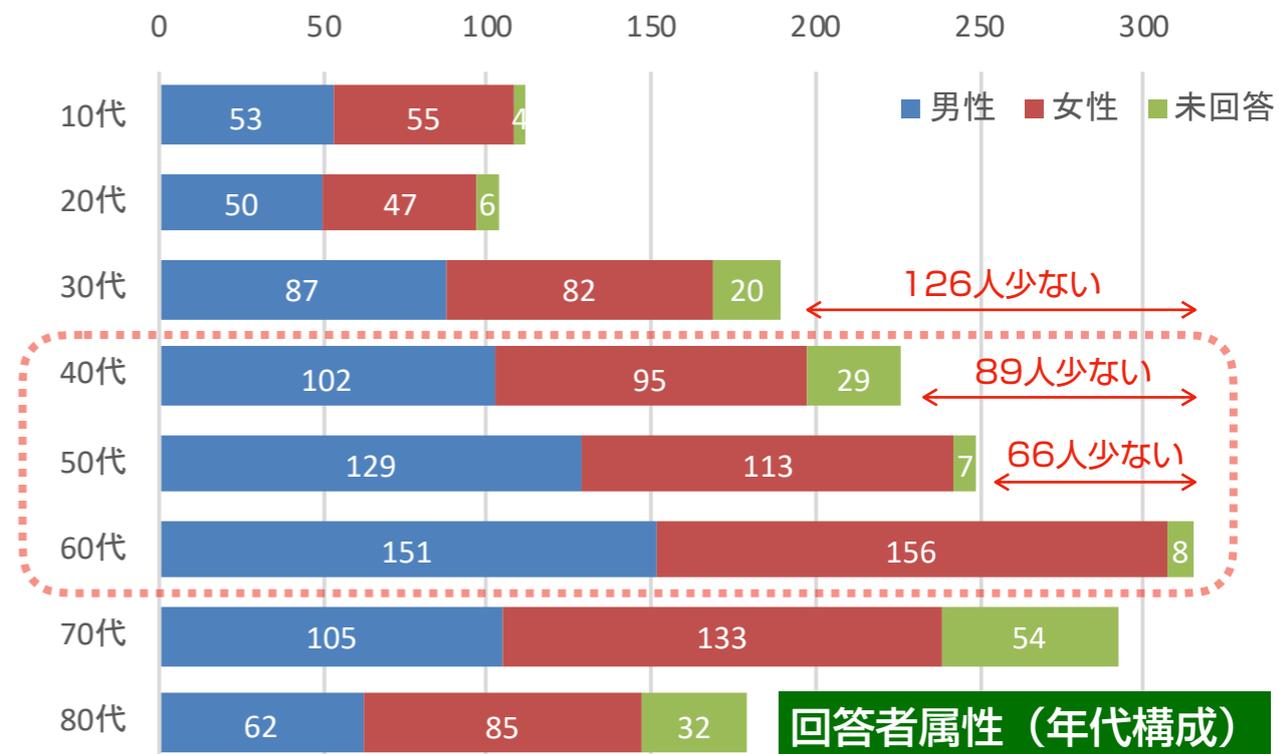
人は減っているのに、役割・仕事は変わっていないならば、負担感が増すのは当然のこと。今後、さらに人の数は減っていくのに、このままの状況で大丈夫か？

負担感が全体よりも高め

負担感が全体よりも高め

負担感が全体よりも高め

40～60代は「忙しすぎる」という悩みが全体平均よりも高い。



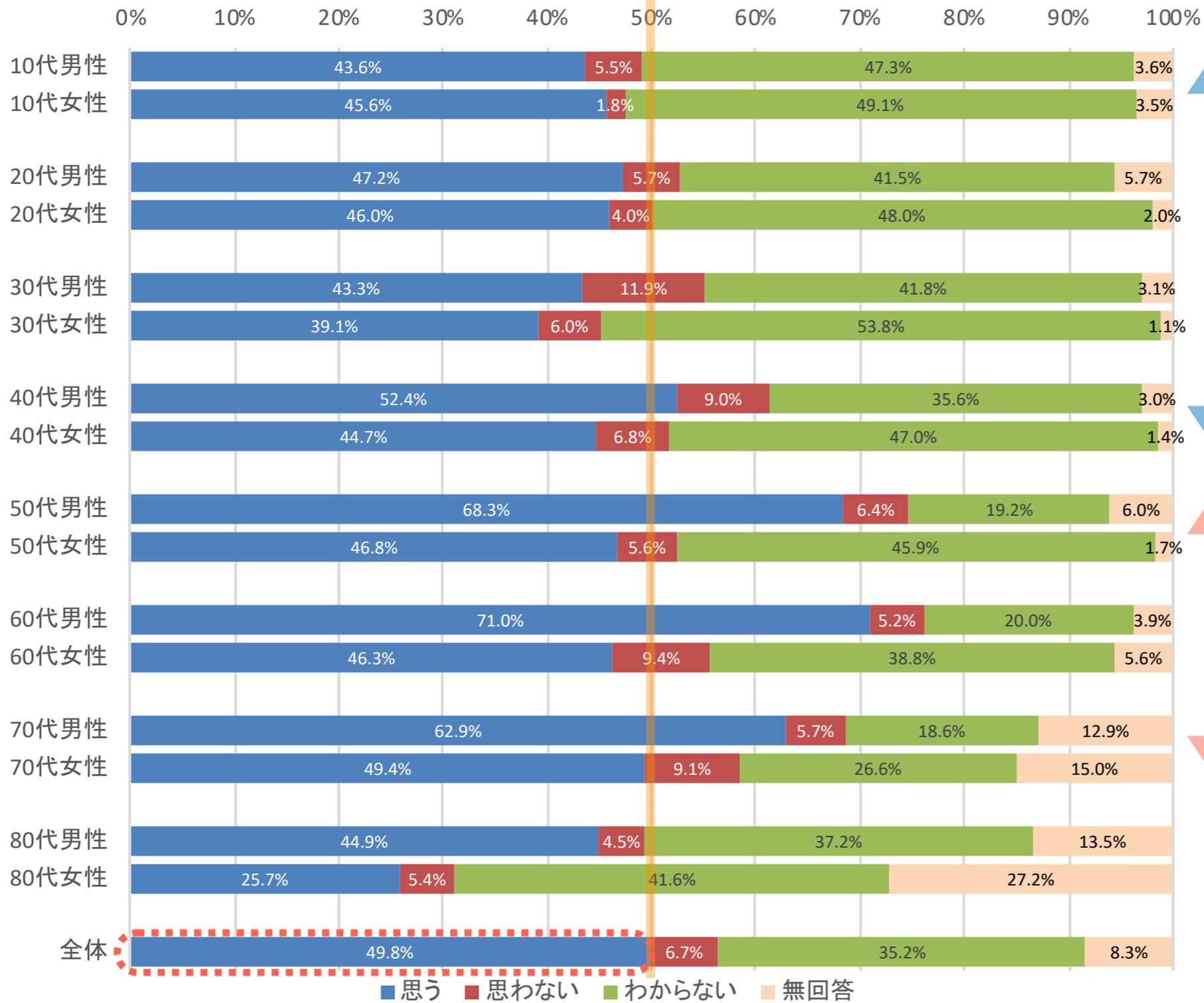
回答者属性（年代構成）

126人少ない

89人少ない

66人少ない

女性・若者の声を反映する必要性 (年代別×男女別) 金ヶ崎町北部地区 (2019)



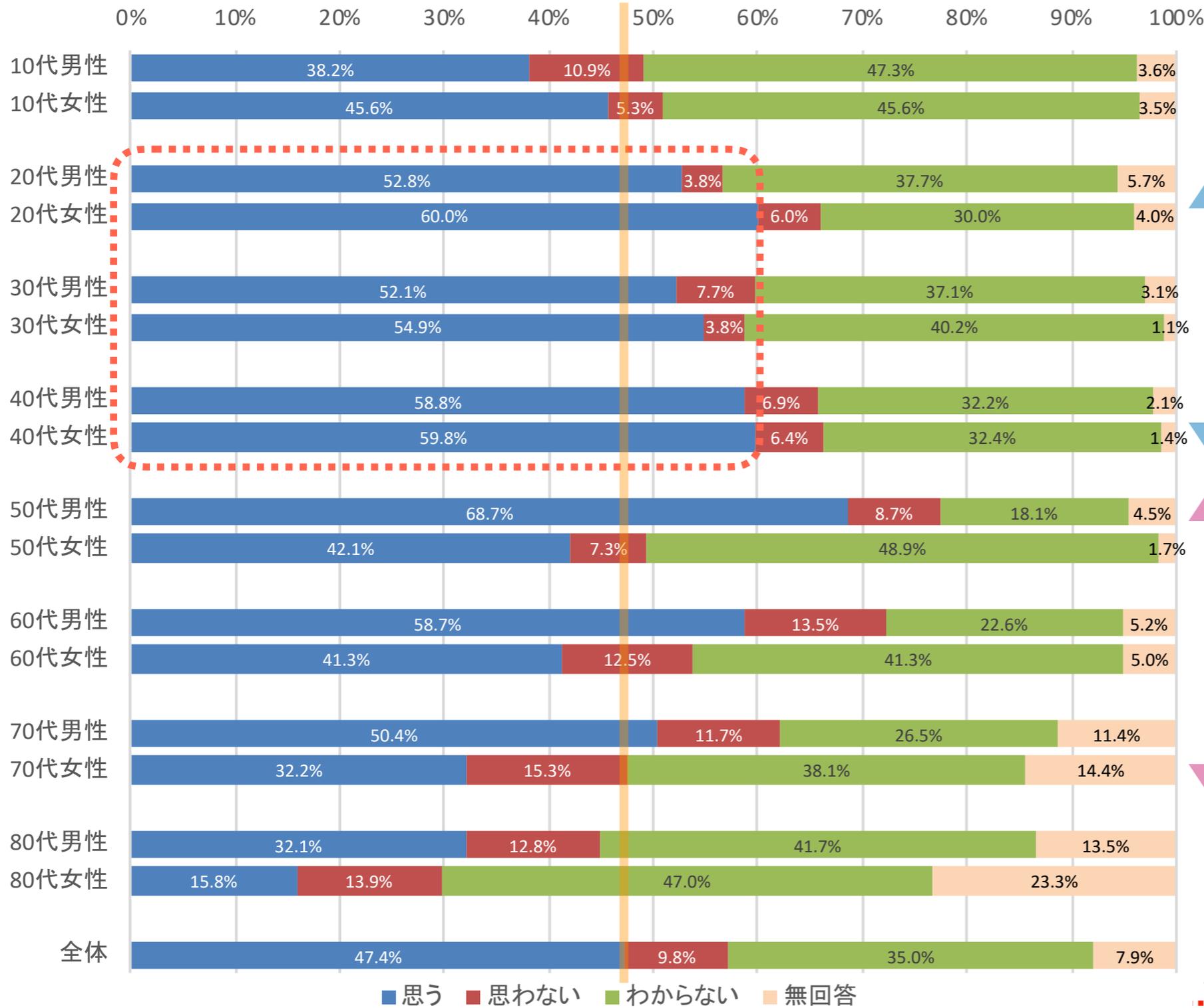
40代以下は
「必要」と「わからない」が
ほぼ同じ割合

50～70代男性は
「必要」という割合が高い！
※6～7割が必要と回答

地区全体では「必要」という意見が約半数

定住受入の必要性（年代別×男女別）

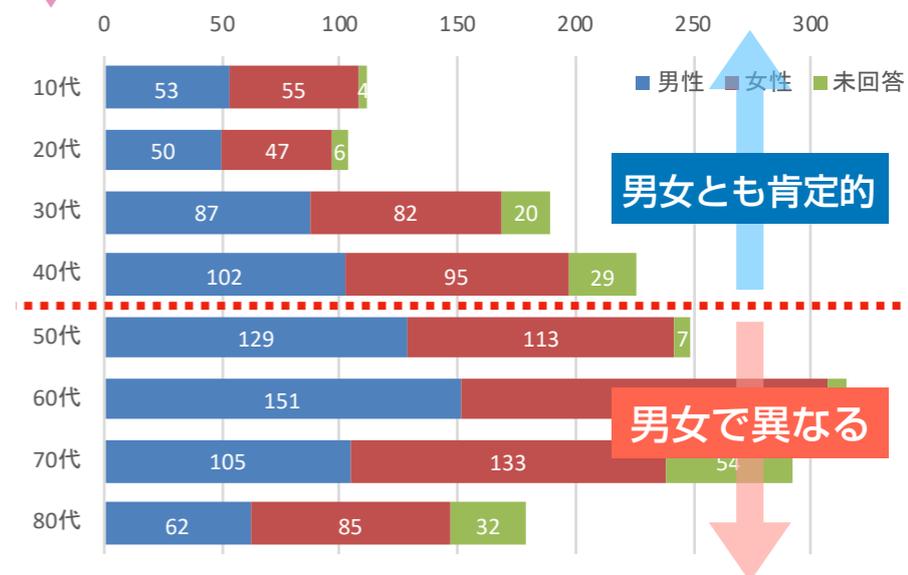
金ヶ崎町北部地区（2019）



男女ともに受入に対して肯定的。

男性は必要性を強く感じているが、女性はまだ必要性を感じていない。

回答者属性（年代構成）



男女とも肯定的

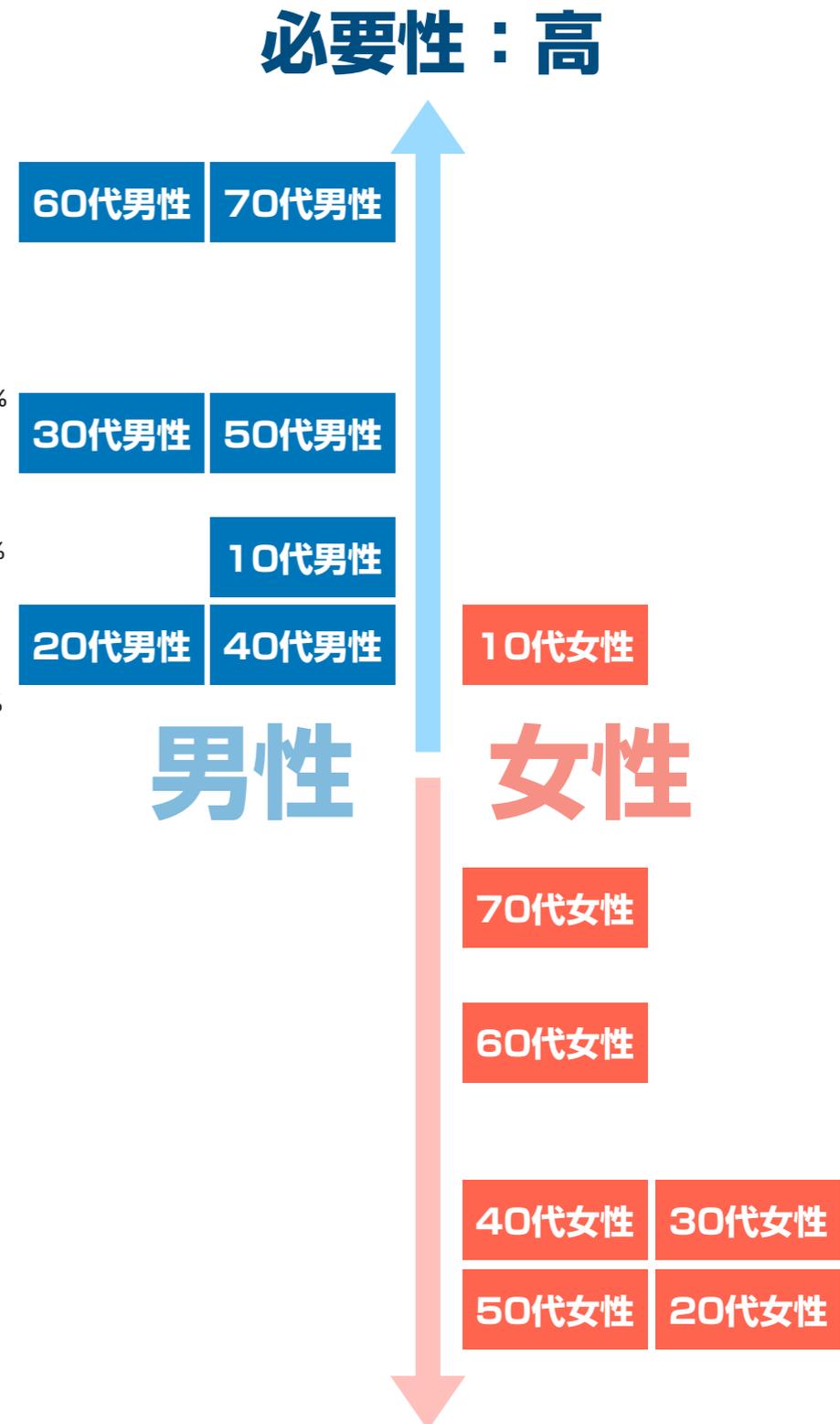
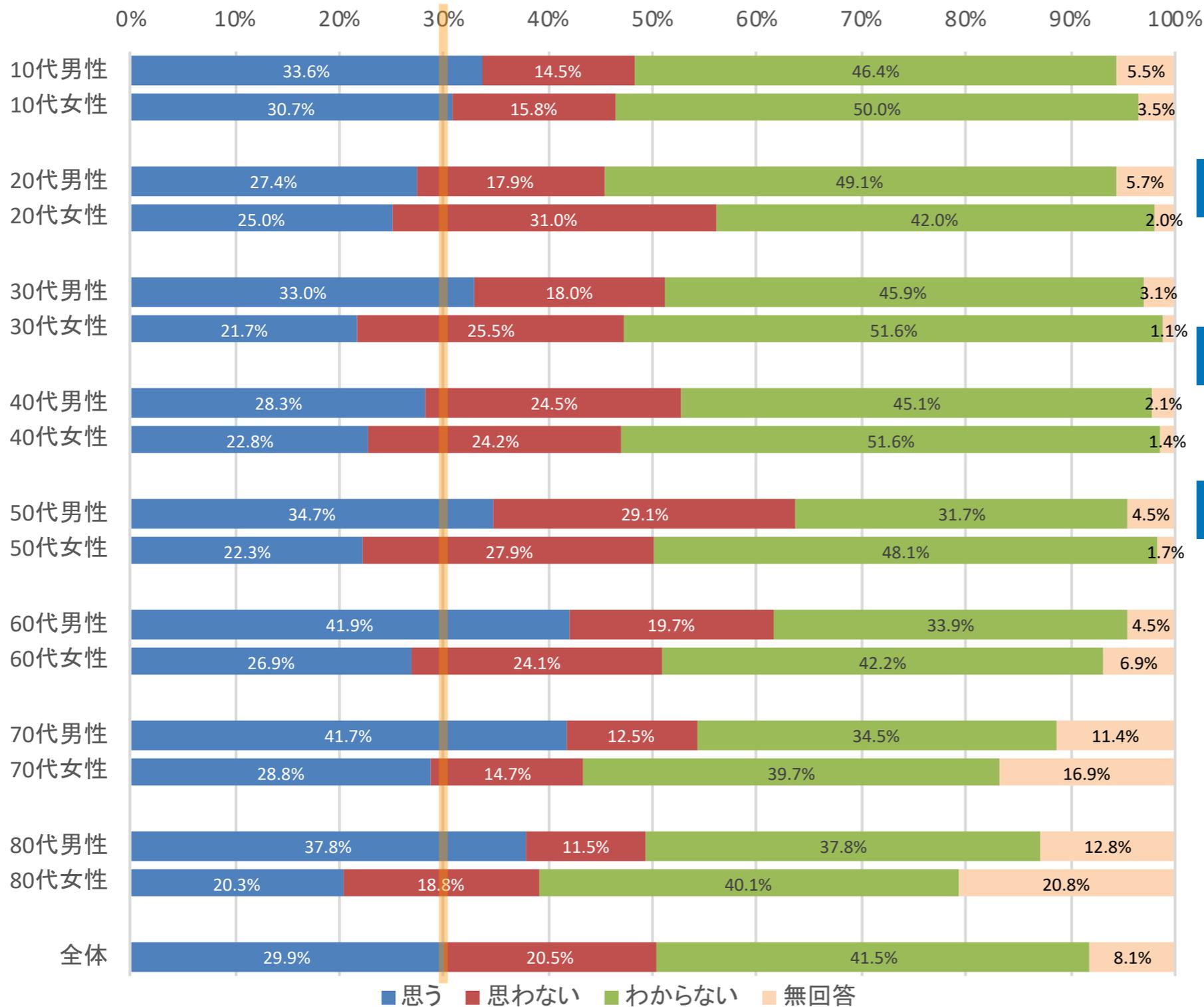
男女で異なる

地域全体では4割以上が「必要」だと思っている。

40代以下は「必要」という割合が高い。

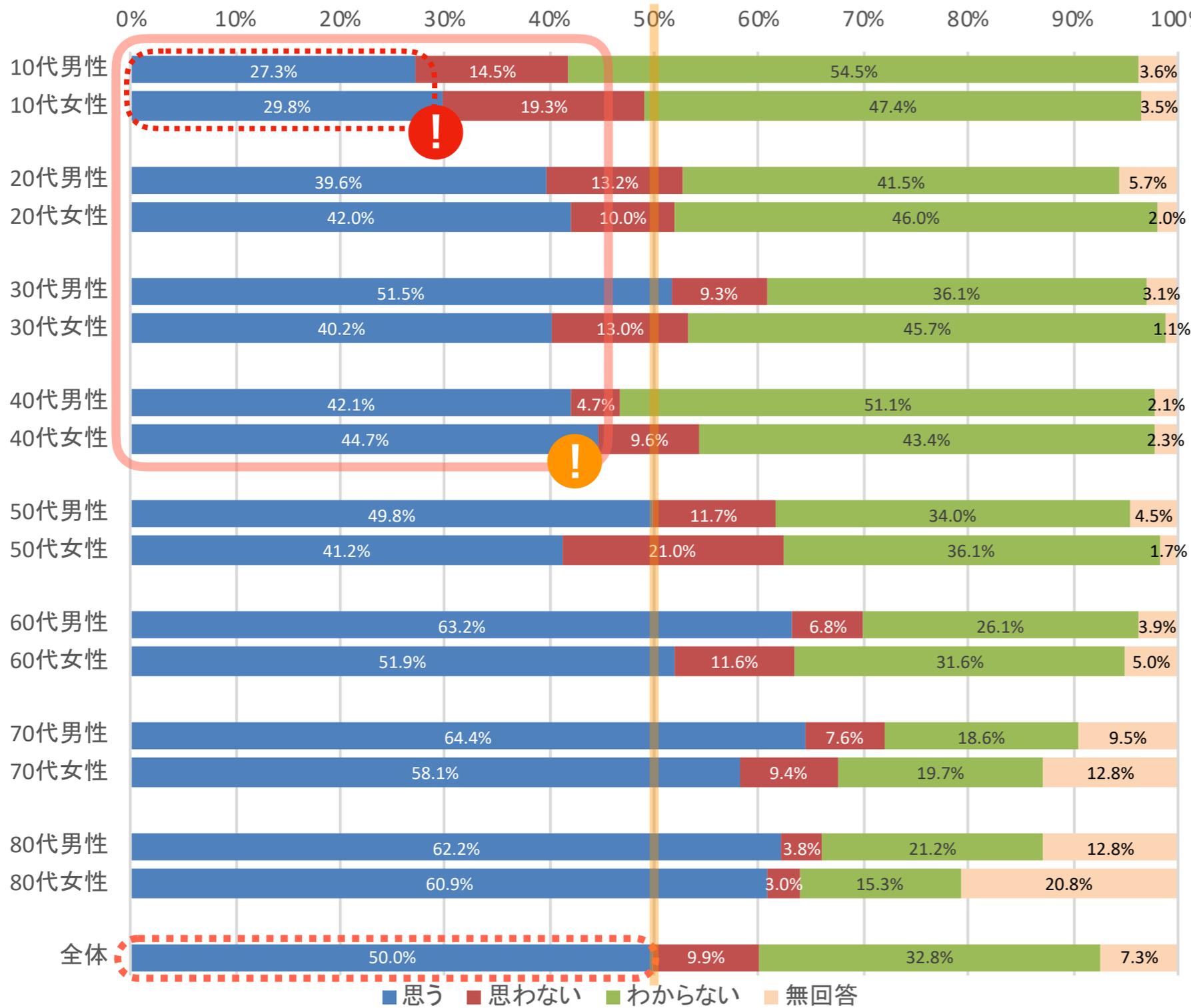
他地域との交流の必要性 (年代別×男女別)

金ヶ崎町北部地区 (2019)



地域全体では「わからない」という割合が4割。
 男高女低傾向→年代性別によって温度差あり

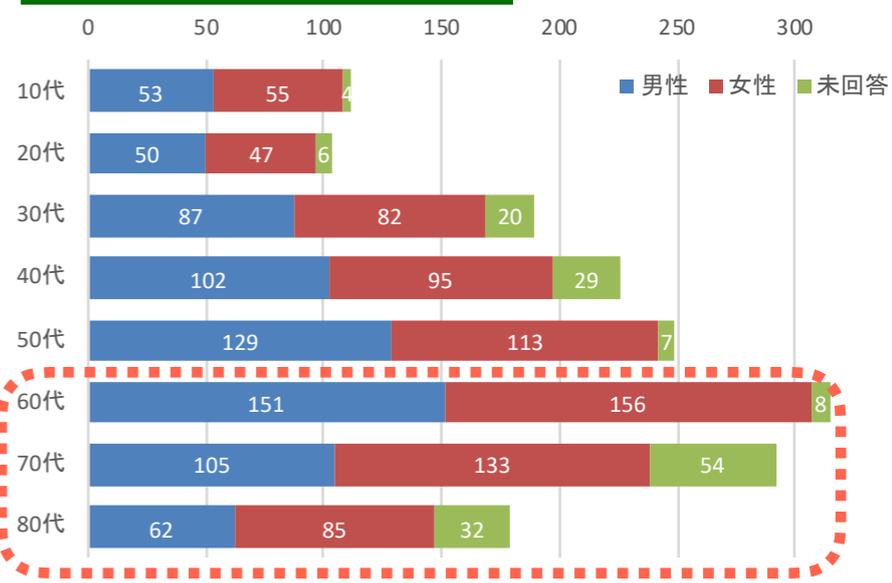
この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別) 金ヶ崎町北部地区 (2019)



10代は半数が「わからない」

10~40代は地区平均より低い

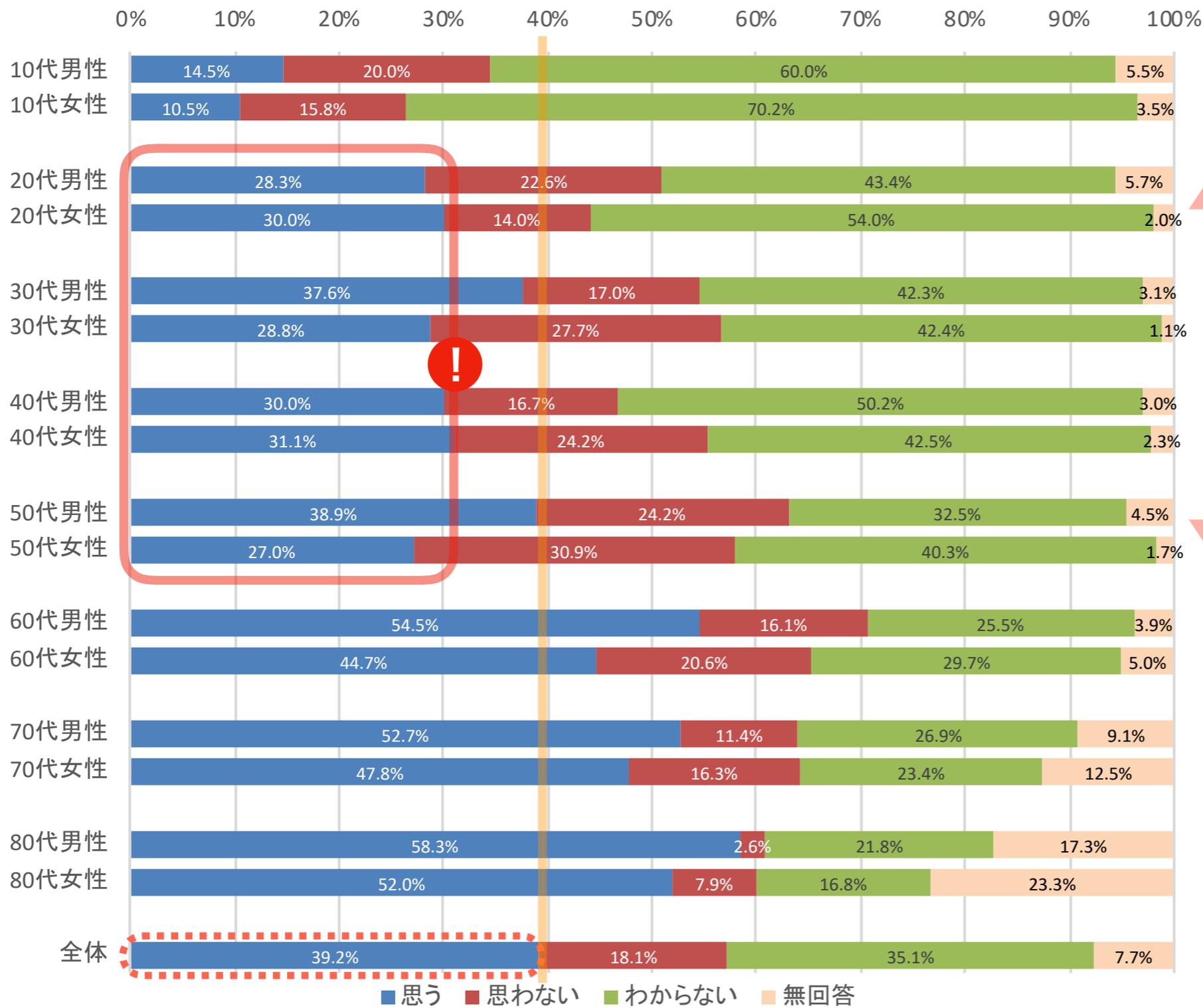
回答者属性 (年代構成)



地区全体では「住み続けたいと思う」は5割

← 多数派の意見が色濃く反映された結果

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)



子育て中の親世代は
住み続けてほしい
の割合は
地区平均より低い！

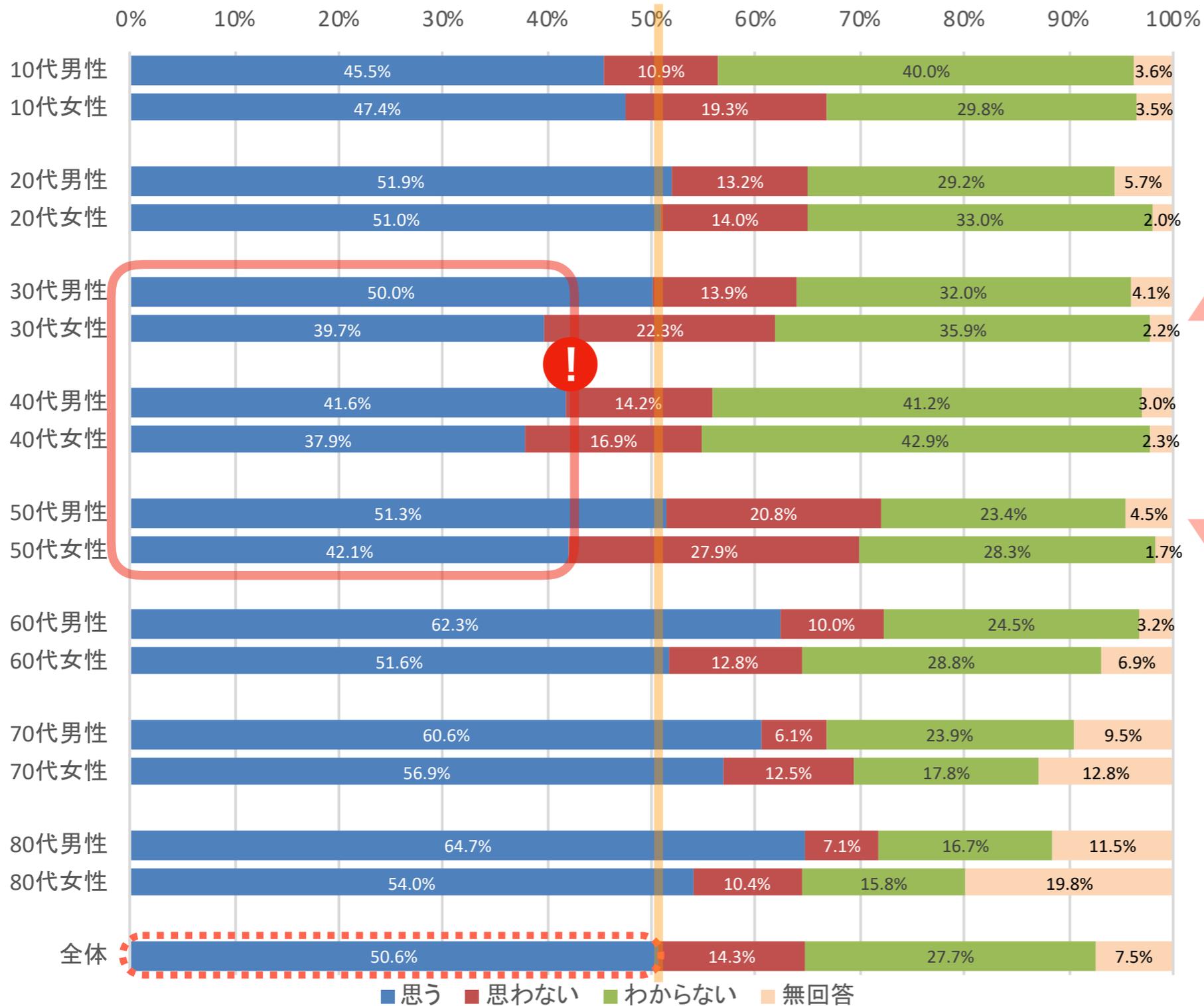
特に30～50代の母親世代は
思う ≡ 思わない

若年層の
定住意向が低い
こととに関連？

地区全体では「住み続けてほしい」は約4割

地域への愛着の有無 (年代別×男女別)

金ヶ崎町北部地区 (2019)



子育て中の親世代の
地域への愛着は
地区平均より低い！

子どもへの影響は
大丈夫?!

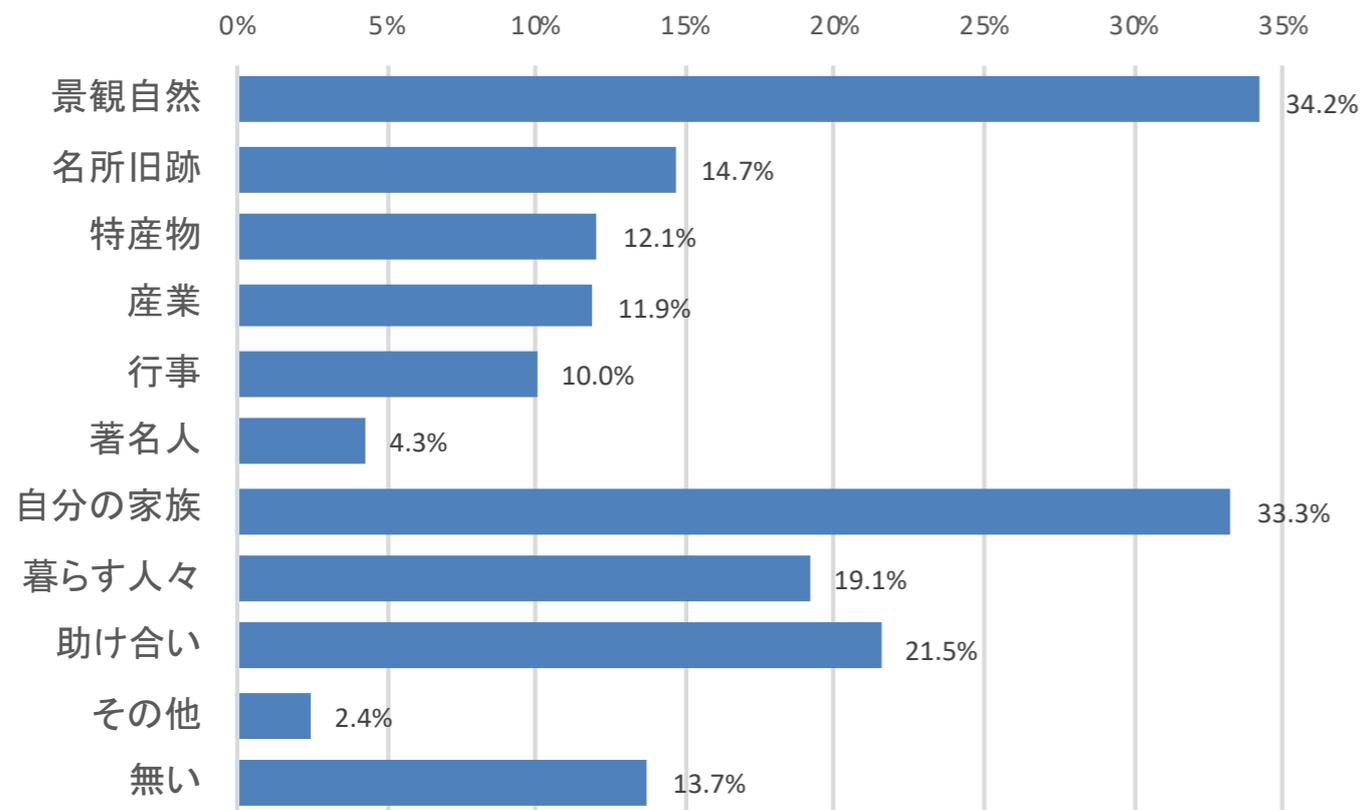
地域への愛着度が
子どもたちへの定住意向に
影響を与えませんか？

「愛着がある」は約半数

誇りに思う地域資源は何か (10~40代)

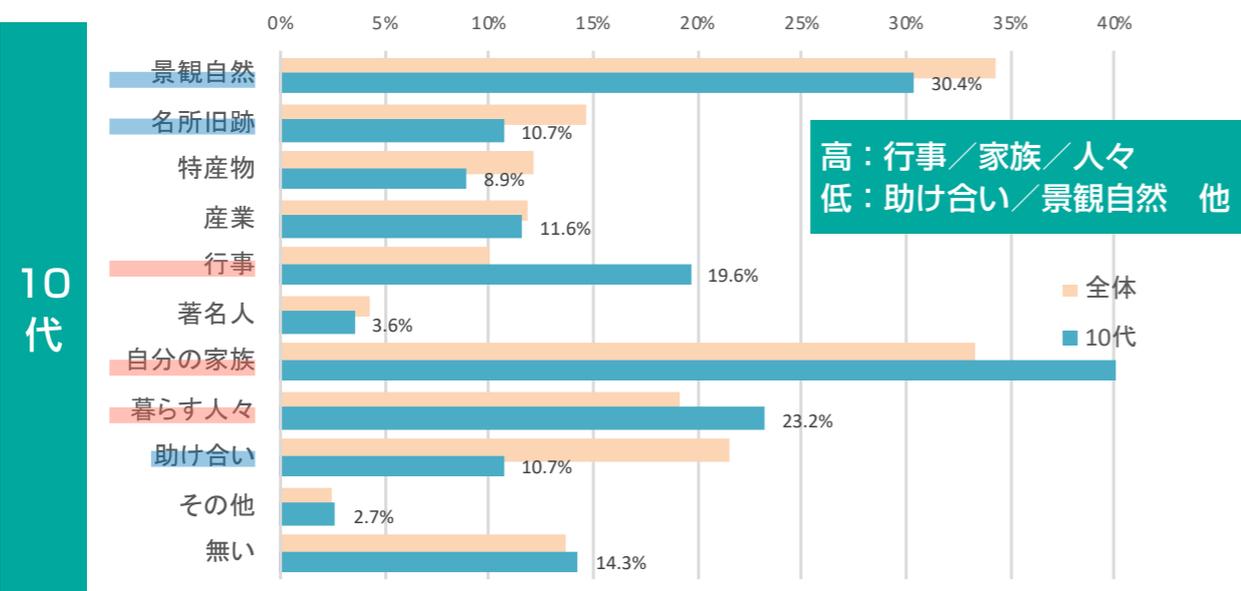
金ケ崎町北部地区 (2019)

地区全体 (複数回答)



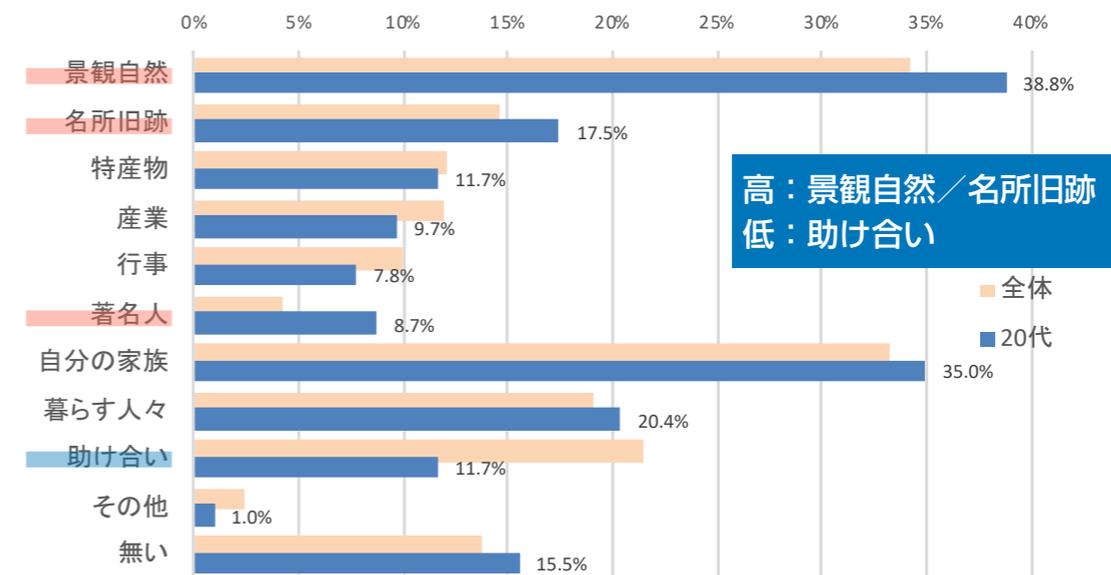
地区平均よりも高い

地区平均よりも低い



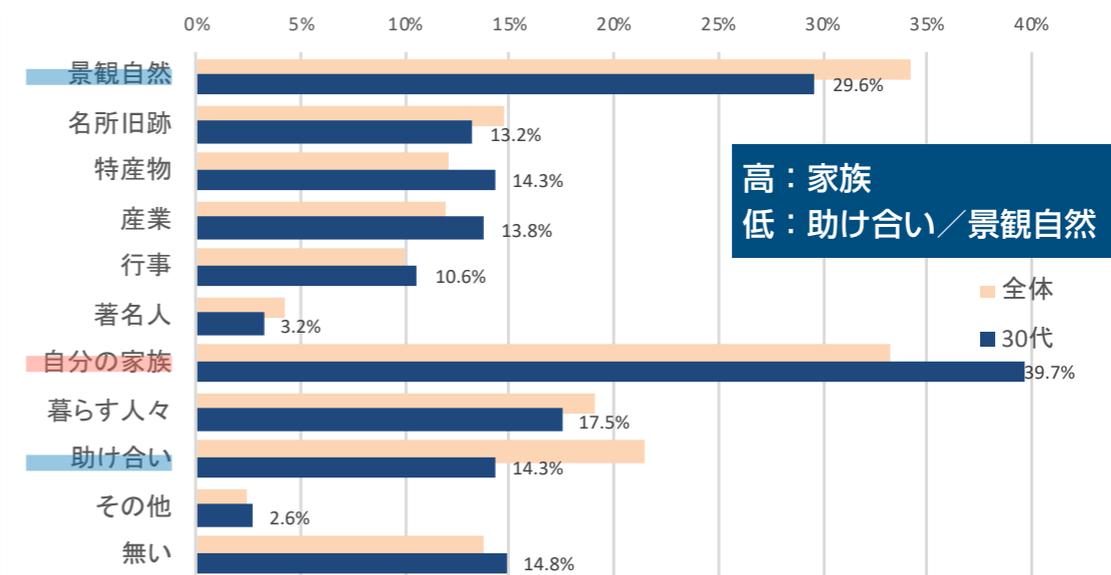
高：行事／家族／人々
低：助け合い／景観自然 他

20代



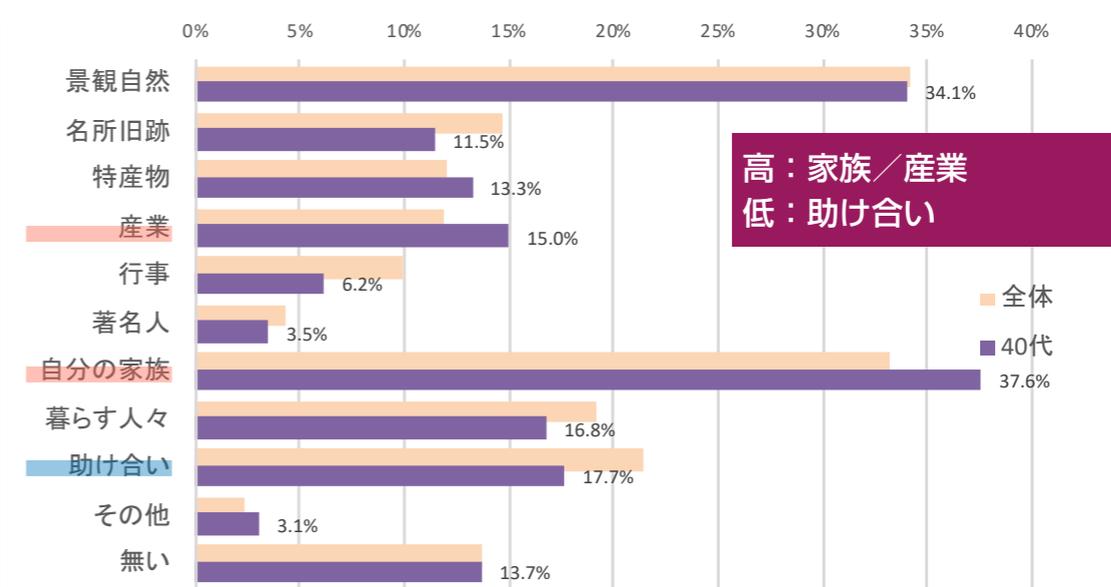
高：景観自然／名所旧跡
低：助け合い

30代



高：家族
低：助け合い／景観自然

40代

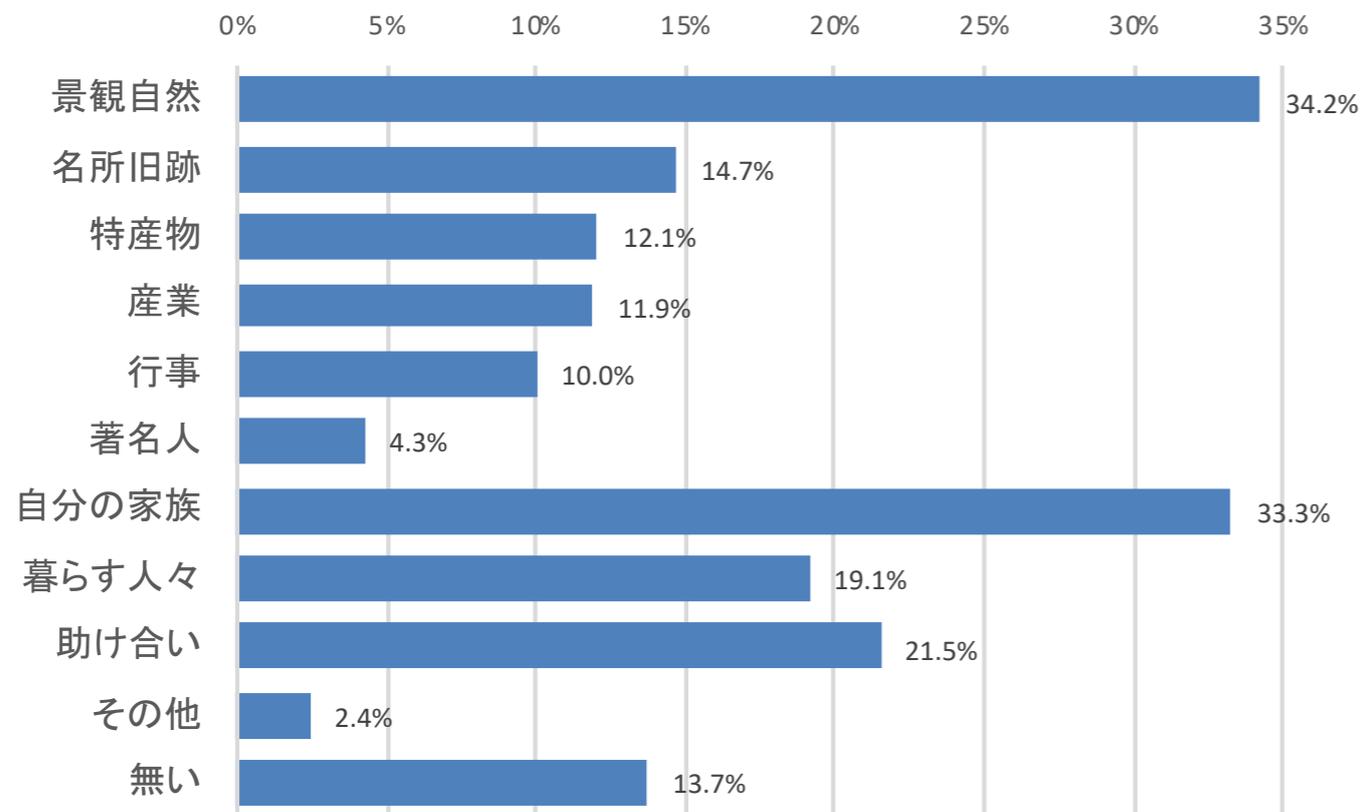


高：家族／産業
低：助け合い

誇りに思う地域資源は何か (50代~)

金ヶ崎町北部地区 (2019)

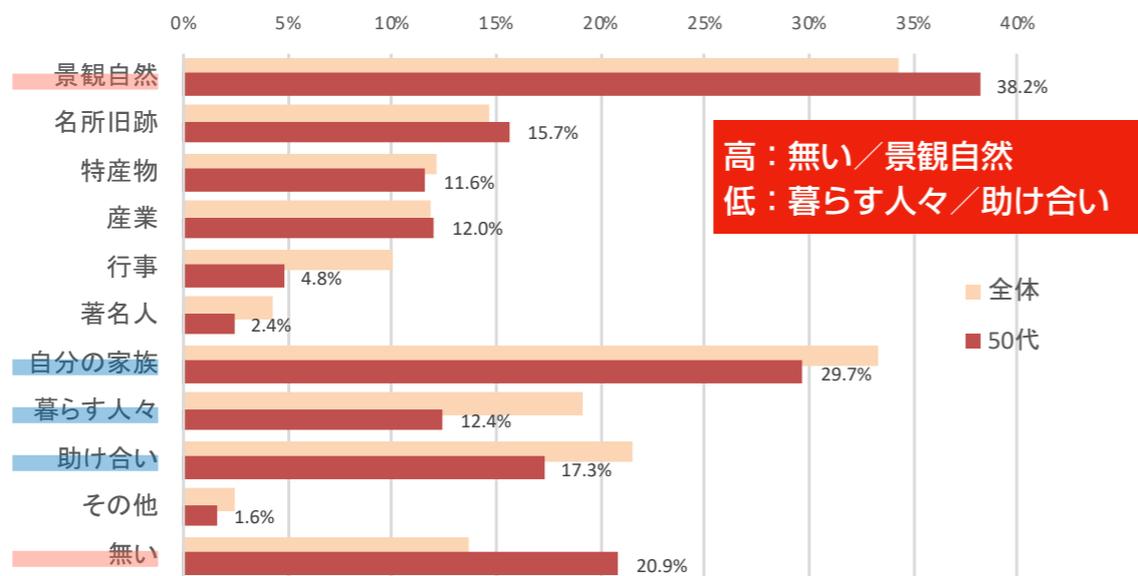
地区全体 (複数回答)



地区平均よりも高い

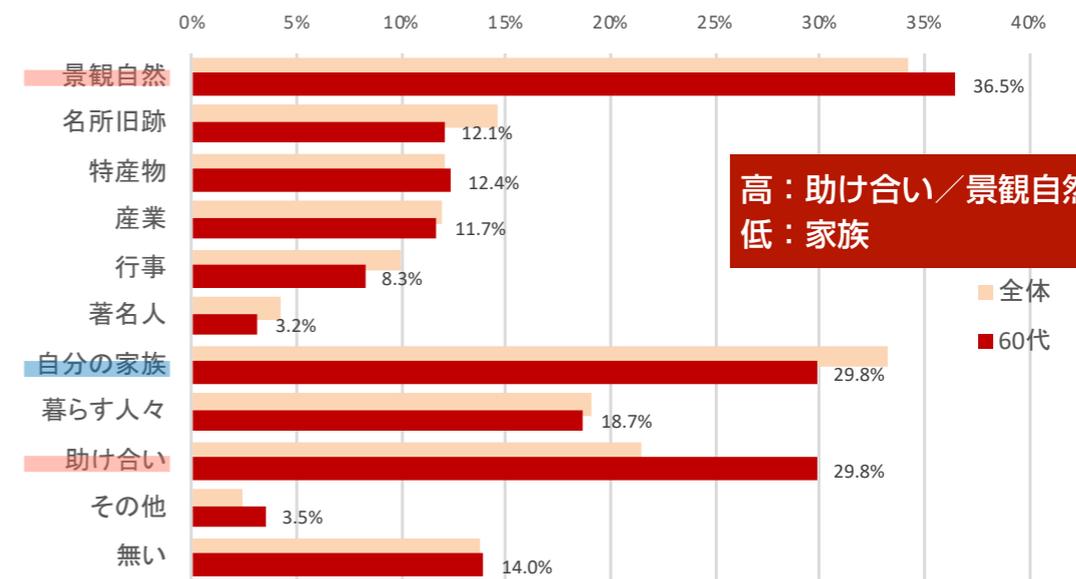
地区平均よりも低い

50代



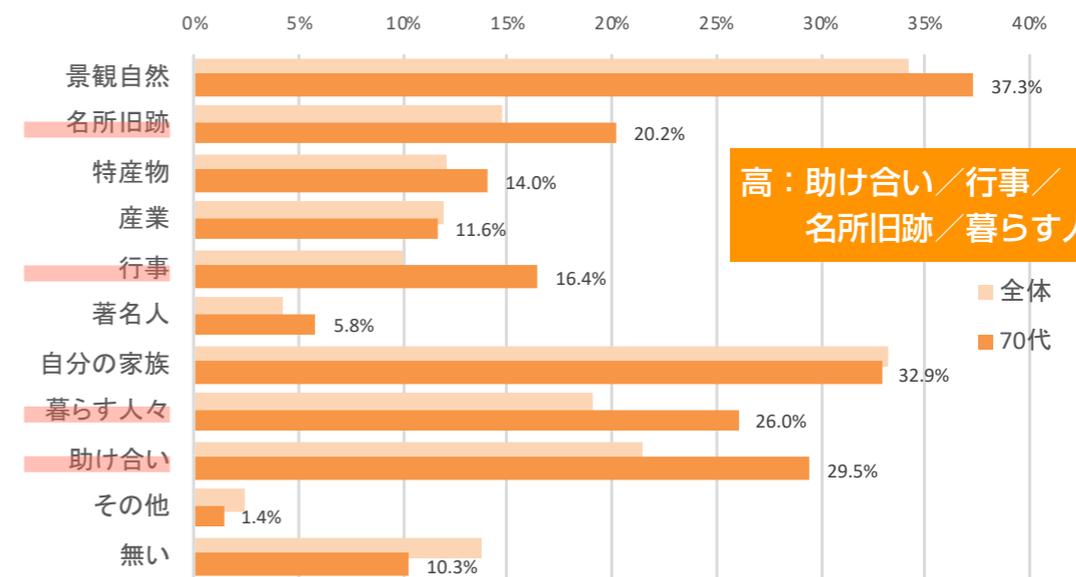
高：無い／景観自然
低：暮らす人々／助け合い

60代



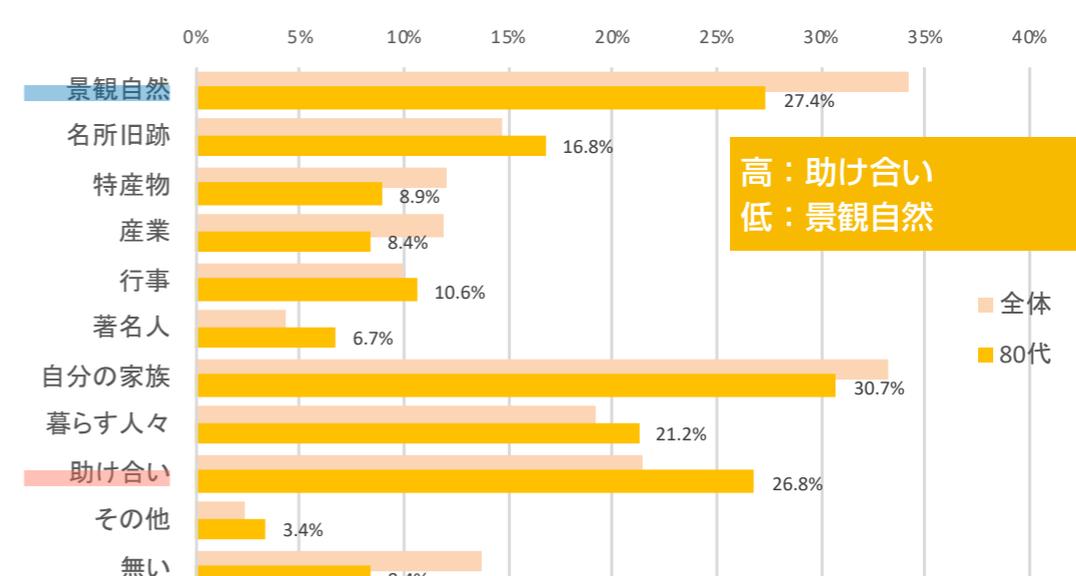
高：助け合い／景観自然
低：家族

70代



高：助け合い／行事／
名所旧跡／暮らす人々

80代



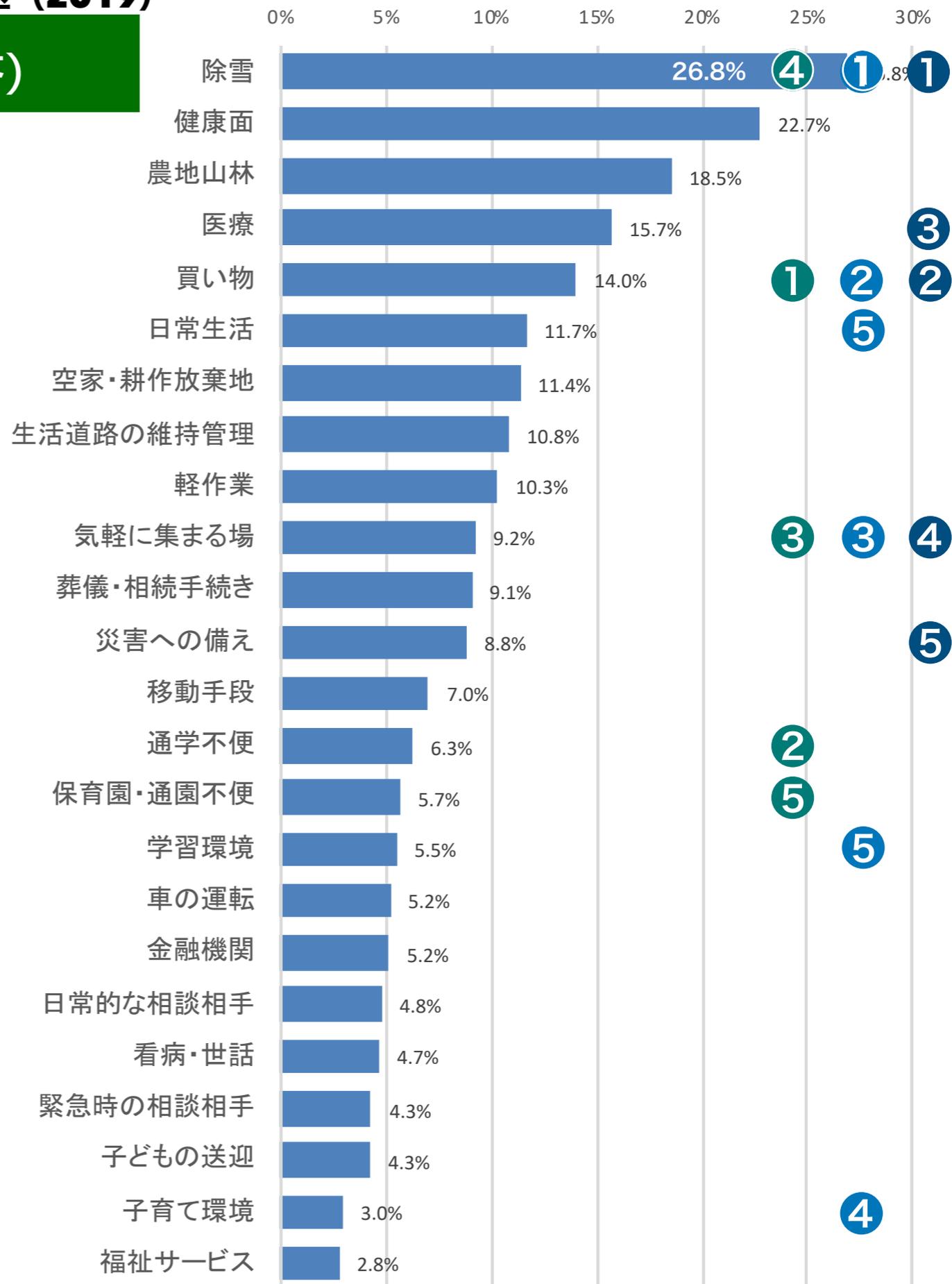
高：助け合い
低：景観自然

暮らしの中の困りごと (複数回答)

10代		
1	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	25.9%
2	学校が遠く、通学が大変である	23.2%
3	仲間と気軽に集まる場所がない	19.6%
4	屋根の雪おろしや玄関先の雪払いなど冬季の除雪	9.8%
5	保育園が遠く不便	8.9%

20代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪払いなど冬季の除雪	32.0%
2	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	24.3%
3	仲間と気軽に集まる場所がない	19.4%
4	子どもの遊び相手やママ友、子育て相談などの子育て環境	11.7%
5	食事づくり、洗濯、ゴミ出しなど	9.7%
	幼稚園が少人数であり、子どもが育つ環境が不安	9.7%

30代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪払いなど冬季の除雪	31.2%
2	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	20.6%
3	医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	17.5%
4	仲間と気軽に集まる場所がない	15.9%
5	災害への備えや避難	14.3%

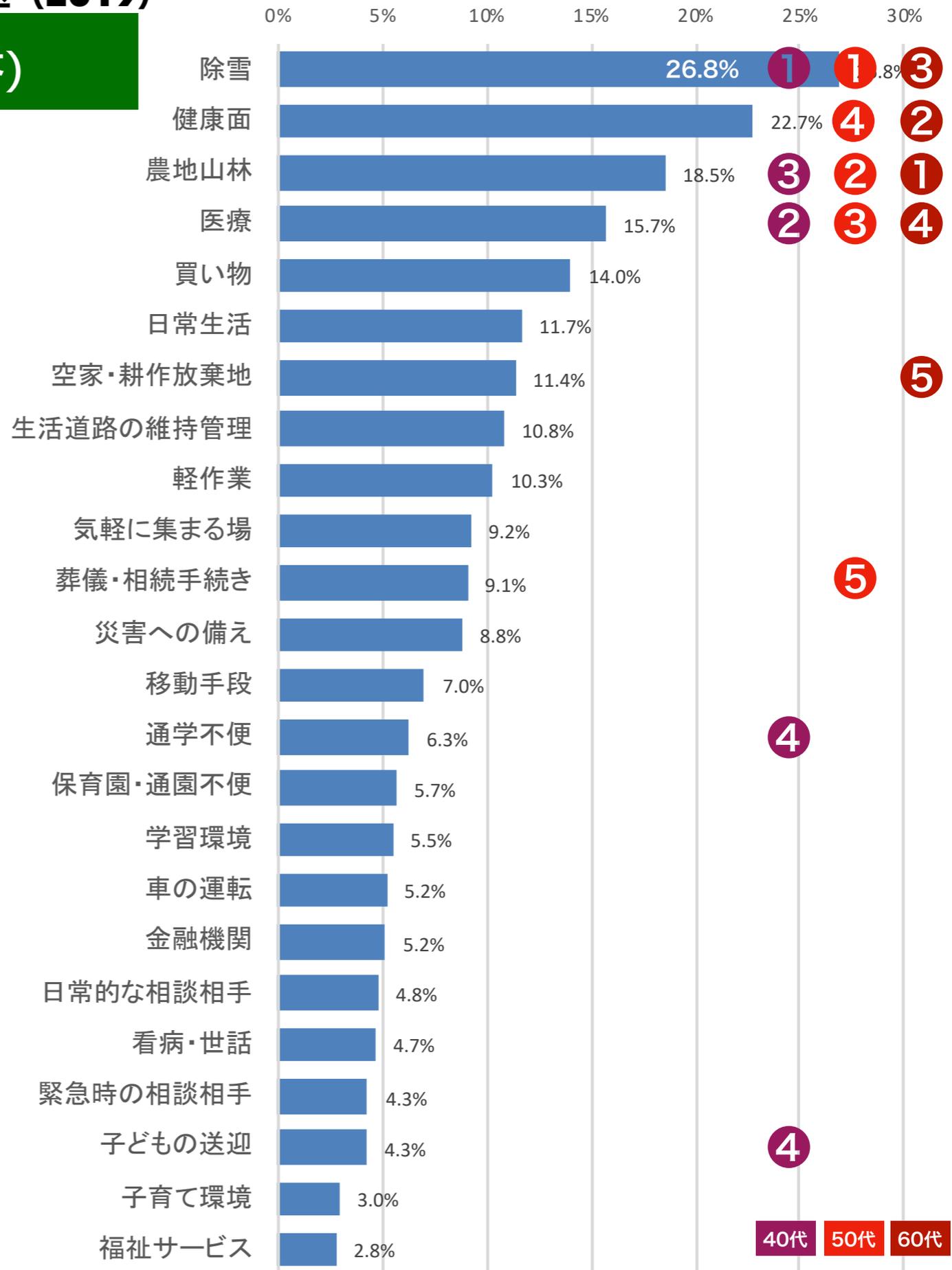


暮らしの中の困りごと (複数回答)

40代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪払いなど冬季の除雪	24.3%
2	医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	18.6%
3	農地、山林の維持管理	16.8%
4	学校が遠く、通学が大変である	14.2%
	スポ少や部活動、塾などの送迎	14.2%

50代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪払いなど冬季の除雪	30.9%
2	農地、山林の維持管理	21.3%
3	医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	20.9%
4	健康面への不安がある	20.1%
5	家族の葬儀や相続などの手続き	15.3%

60代		
1	農地、山林の維持管理	32.1%
2	健康面への不安がある	28.6%
3	屋根の雪おろしや玄関先の雪払いなど冬季の除雪	25.1%
4	医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	17.1%
5	地域内の空き家や耕作放棄地	16.5%



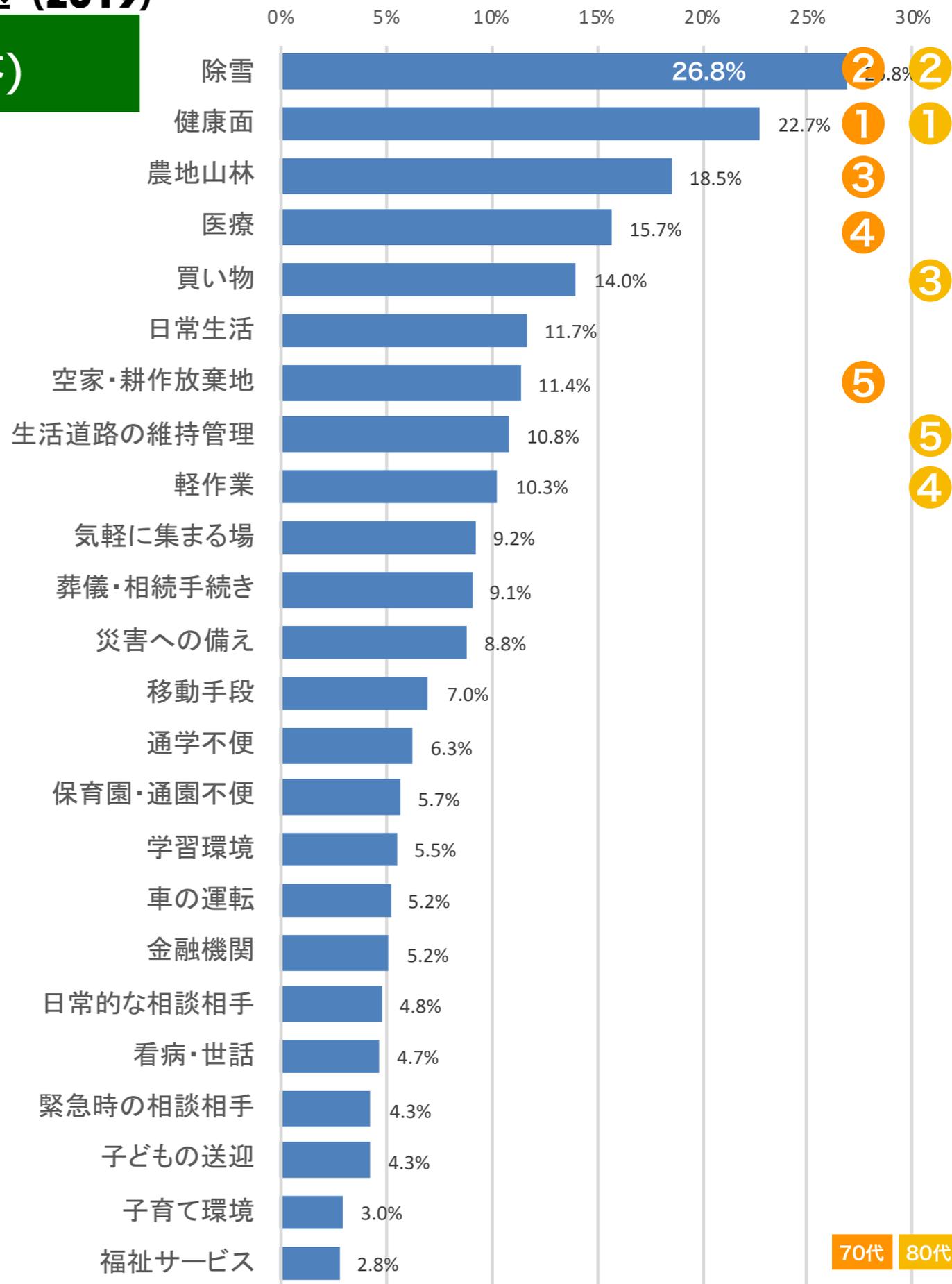
地区全体 (複数回答)

暮らしの中の困りごと (複数回答)

70代		
1	健康面への不安がある	34.9%
2	屋根の雪おろしや玄関先の雪払いなど冬季の除雪	28.1%
3	農地、山林の維持管理	22.9%
4	医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	17.5%
5	地域内の空き家や耕作放棄地	17.1%

80代		
1	健康面への不安がある	48.6%
2	屋根の雪おろしや玄関先の雪払いなど冬季の除雪	31.8%
3	買い物・通院などの移動手段(交通手段)	20.7%
4	庭作業(草取り)、電気器具修理や電球交換などの軽作業	20.1%
5	生活道路などの草刈りやごみ拾いなどの事	15.6%

全体		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪払いなど冬季の除雪	26.8%
2	健康面への不安がある	22.7%
3	農地、山林の維持管理	18.5%
4	医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	15.7%
5	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便	14.0%



地区全体 (複数回答)

70代 80代

第1位 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 26.8%

すべての世代で上位にランクイン (20~50代ではトップ)

→20~50代は担い手不足への懸念、70代以上は作業自体への不安?

第2位 健康面への不安がある 22.7%

70代以上はトップ (60代でも第2位) →高齢者の健康づくりが課題?!

第3位 農地や山林の維持管理 18.5%

40~70代でランクイン →現在の担い手世代が問題意識を持っている

第4位 医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる 15.7%

30代以降で上位にランクイン

→子育て世代 (30・40代) は子ども医療、50代以上は介護医療への不安!?

第5位 コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便 14.0%

30代以下で上位にランクイン →利便性への不満の現れか?!

暮らしの中の困りごと (まとめ)

金ヶ崎町北部地区 (2019)

全体での順位は
高くはないが、

若者

中堅世代

特有の困りごと

第10位 仲間と気軽に集まる場所がない 9.2%

10~30代のみ上位にランクイン →若年層特有の困りごと

第14位 学校が遠く、通学が大変であること 6.3%

第16位 幼稚園が少人数であり、子どもが育つ環境が不安 5.5%

第22位 スポ少や部活動、塾などの送迎 4.3%

10~40代のみ上位にランクイン →教育・子育て環境への不安!?

第8位 生活道路などの草刈りやごみ拾い 10.8%

50代以上から回答割合上昇 →担い手不足への懸念!?

第11位 家族の葬儀や相続などの手続き 9.1%

50代のみ上位にランクイン →この世代特有の困りごと

第9位 庭作業(草取り)電気器具修理や電球交換などの軽作業 10.3%

第13位 買い物・通院などの移動手段(交通手段) 7.0%

80代以上のみ上位にランクイン

全体での順位は
高くはないが、

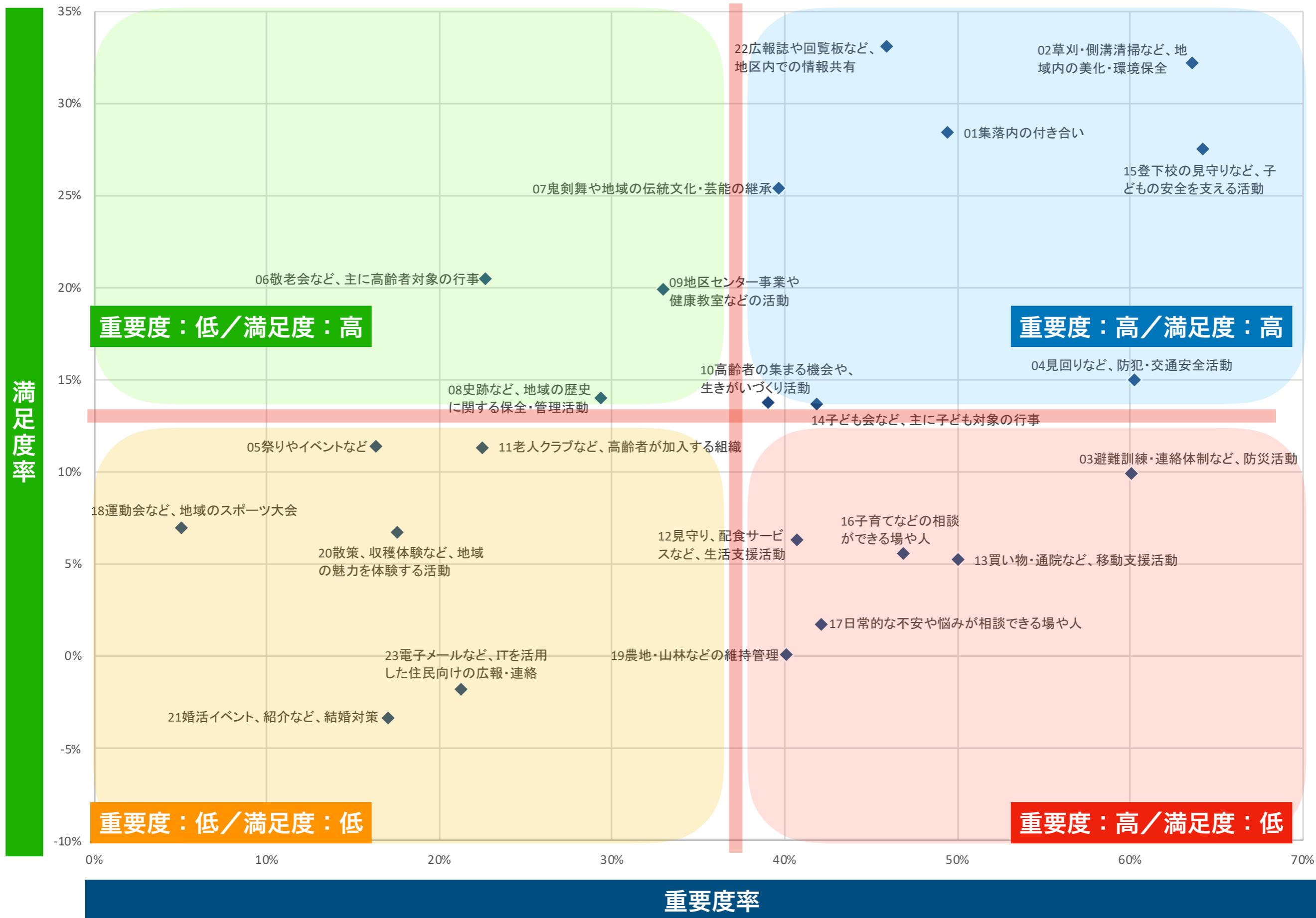
中堅

高齢世代

特有の困りごと

取り組みの満足度と重要度

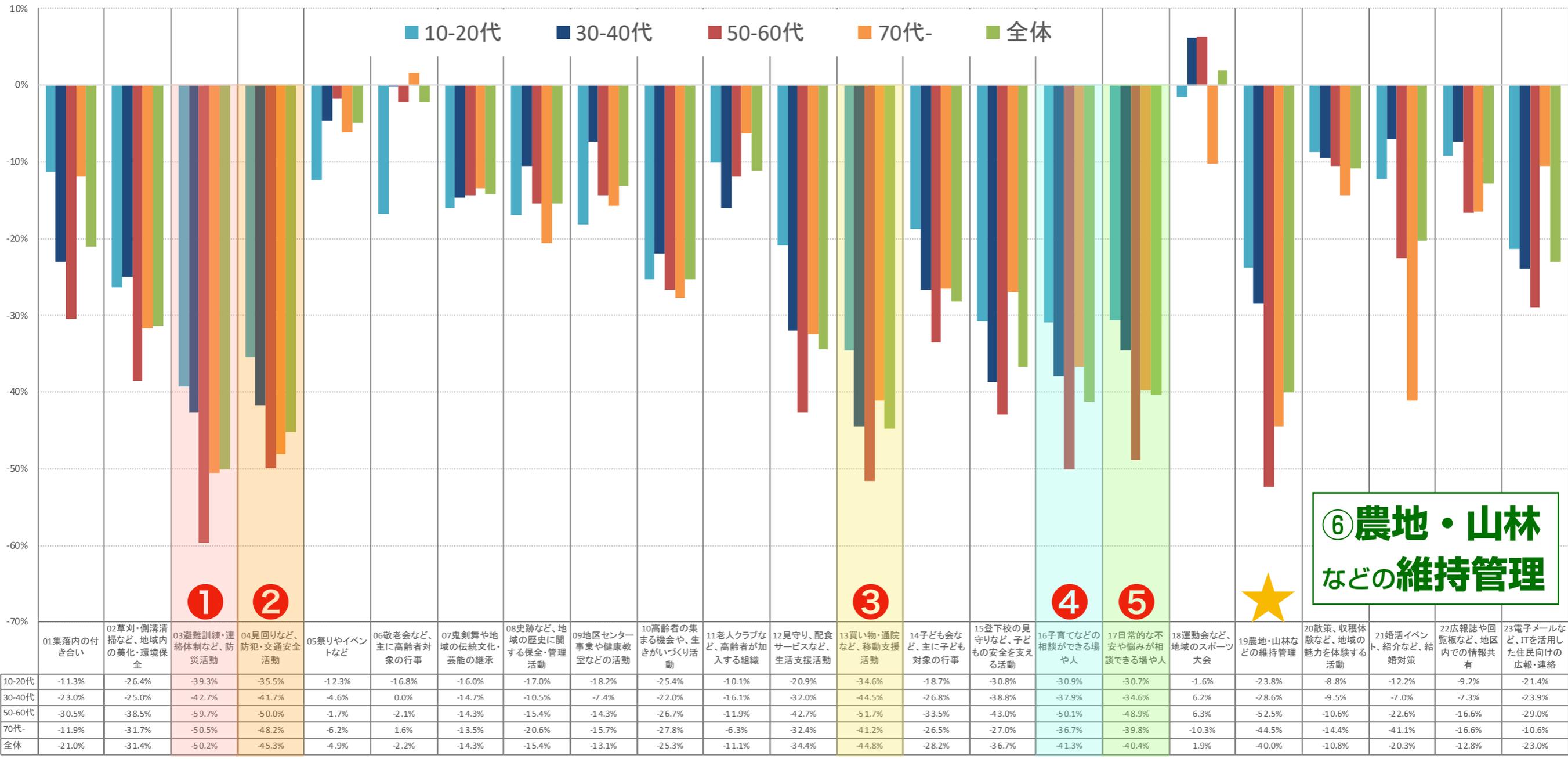
金ケ崎町北部地区 (2019)



取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

金ヶ崎町北部地区（2019）

※グラフが下に伸びているほど、満足度と重要度のギャップがある（＝現状では満足しておらず、これからは重要だと思う）項目



⑥ 農地・山林などの維持管理

① 避難訓練・連絡体制など、防災活動

② 見回りなど、防犯・交通安全活動

③ 買い物・通院など、移動支援活動

④ 子育てなどの相談ができる場や人

⑤ 日常的な不安や悩みが相談できる場や人

これからは、こうしたテーマへの取り組みが必要

取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

金ヶ崎町北部地区（2019）

これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング（上位）

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
1	03避難訓練・連絡体制など、防災活動 -50.2%	03避難訓練・連絡体制など、防災活動 -39.3%	13買い物・通院など、移動支援活動 -44.5%	03避難訓練・連絡体制など、防災活動 -59.7%	03避難訓練・連絡体制など、防災活動 -50.5%
2	04見回りなど、防犯・交通安全活動 -45.3%	04見回りなど、防犯・交通安全活動 -35.5%	03避難訓練・連絡体制など、防災活動 -42.7%	19農地・山林などの維持管理 -52.5%	04見回りなど、防犯・交通安全活動 -48.2%
3	13買い物・通院など、移動支援活動 -44.8%	13買い物・通院など、移動支援活動 -34.6%	04見回りなど、防犯・交通安全活動 -41.7%	13買い物・通院など、移動支援活動 -51.7%	19農地・山林などの維持管理 -44.5%
4	16子育てなどの相談ができる場や人 -41.3%	16子育てなどの相談ができる場や人 -30.9%	15登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -38.8%	16子育てなどの相談ができる場や人 -50.1%	13買い物・通院など、移動支援活動 -41.2%
5	17日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -40.4%	15登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -30.8%	16子育てなどの相談ができる場や人 -37.9%	04見回りなど、防犯・交通安全活動 -50.0%	21婚活イベント、紹介など、結婚対策 -41.1%
6	19農地・山林などの維持管理 -40.0%	17日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -30.7%	17日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -34.6%	17日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -48.9%	17日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -39.8%
7	15登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -36.7%	02草刈・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -26.4%	12見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -32.0%	15登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -43.0%	16子育てなどの相談ができる場や人 -36.7%
8	12見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -34.4%	10高齢者の集まる機会や、生きがいづくり活動 -25.4%	19農地・山林などの維持管理 -28.6%	12見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -42.7%	12見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -32.4%
9	02草刈・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -31.4%	19農地・山林などの維持管理 -23.8%	14子ども会など、主に子ども対象の行事 -26.8%	02草刈・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -38.5%	02草刈・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -31.7%
10	14子ども会など、主に子ども対象の行事 -28.2%	23電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -21.4%	02草刈・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -25.0%	14子ども会など、主に子ども対象の行事 -33.5%	10高齢者の集まる機会や、生きがいづくり活動 -27.8%
11	10高齢者の集まる機会や、生きがいづくり活動 -25.3%	12見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -20.9%	23電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -23.9%	01集落内の付き合い -30.5%	15登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -27.0%
12	23電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -23.0%	14子ども会など、主に子ども対象の行事 -18.7%	01集落内の付き合い -23.0%	23電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -29.0%	14子ども会など、主に子ども対象の行事 -26.5%
13	01集落内の付き合い -21.0%	09地区センター事業や健康教室などの活動 -18.2%	10高齢者の集まる機会や、生きがいづくり活動 -22.0%	10高齢者の集まる機会や、生きがいづくり活動 -26.7%	08史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -20.6%
14	21婚活イベント、紹介など、結婚対策 -20.3%	08史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -17.0%	11老人クラブなど、高齢者が加入する組織 -16.1%	21婚活イベント、紹介など、結婚対策 -22.6%	22広報誌や回覧板など、地区内での情報共有 -16.6%

上位については世代間の差はほぼ無い

これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング（上位）

13	01 集落内の付き合い	-21.0%	09 地区センター事業や健康教室などの活動	-18.2%	10 高齢者の集まる機会や、生きがいづくり活動	-22.0%	10 高齢者の集まる機会や、生きがいづくり活動	-26.7%	08 史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	-20.6%
14	21 婚活イベント、紹介など、結婚対策	-20.3%	08 史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	-17.0%	11 老人クラブなど、高齢者が加入する組織	-16.1%	21 婚活イベント、紹介など、結婚対策	-22.6%	22 広報誌や回覧板など、地区内での情報共有	-16.6%
15	08 史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	-15.4%	06 敬老会など、主に高齢者対象の行事	-16.8%	07 鬼剣舞や地域の伝統文化・芸能の継承	-14.7%	22 広報誌や回覧板など、地区内での情報共有	-16.6%	09 地区センター事業や健康教室などの活動	-15.7%
16	07 鬼剣舞や地域の伝統文化・芸能の継承	-14.3%	07 鬼剣舞や地域の伝統文化・芸能の継承	-16.0%	08 史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	-10.5%	08 史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	-15.4%	20 散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動	-14.4%
17	09 地区センター事業や健康教室などの活動	-13.1%	05 祭りやイベントなど	-12.3%	20 散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動	-9.5%	07 鬼剣舞や地域の伝統文化・芸能の継承	-14.3%	07 鬼剣舞や地域の伝統文化・芸能の継承	-13.5%
18	22 広報誌や回覧板など、地区内での情報共有	-12.8%	21 婚活イベント、紹介など、結婚対策	-12.2%	09 地区センター事業や健康教室などの活動	-7.4%	09 地区センター事業や健康教室などの活動	-14.3%	01 集落内の付き合い	-11.9%
19	11 老人クラブなど、高齢者が加入する組織	-11.1%	01 集落内の付き合い	-11.3%	22 広報誌や回覧板など、地区内での情報共有	-7.3%	11 老人クラブなど、高齢者が加入する組織	-11.9%	23 電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡	-10.6%
20	20 散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動	-10.8%	11 老人クラブなど、高齢者が加入する組織	-10.1%	21 婚活イベント、紹介など、結婚対策	-7.0%	20 散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動	-10.6%	18 運動会など、地域のスポーツ大会	-10.3%
21	05 祭りやイベントなど	-4.9%	22 広報誌や回覧板など、地区内での情報共有	-9.2%	05 祭りやイベントなど	-4.6%	06 敬老会など、主に高齢者対象の行事	-2.1%	11 老人クラブなど、高齢者が加入する組織	-6.3%
22	06 敬老会など、主に高齢者対象の行事	-2.2%	20 散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動	-8.8%	06 敬老会など、主に高齢者対象の行事	0.0%	05 祭りやイベントなど	-1.7%	05 祭りやイベントなど	-6.2%
23	18 運動会など、地域のスポーツ大会	1.9%	18 運動会など、地域のスポーツ大会	-1.6%	18 運動会など、地域のスポーツ大会	6.2%	18 運動会など、地域のスポーツ大会	6.3%	06 敬老会など、主に高齢者対象の行事	1.6%

05 祭りなど、祭礼・イベント
09 敬老会など、主に高齢者対象の行事
18 運動会など、地域のスポーツ大会



満足度（現状で満足している）は高めだが、
重要度（将来的にはこれが重要）はあまり高くない。

行事・イベント ≪ 地域課題の解決 という意識の現れ?!

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている項目上位5つ

①避難訓練・連絡体制など、防災活動

50代以上がこの必要性を強く感じている。

②見回りなど、防犯・交通安全活動

50代以上でこの必要性を強く感じている。

→地域ぐるみで高齢世帯への見守りの必要性が高まっている。

③買い物・通院など、移動支援活動

30・40代が、特にこの必要性を強く感じている。

→送迎される側よりも、送迎している側が切実に求めているのではないか!?

④子育てなどの相談ができる場や人

全世代共通で、必要性を感じている。

⑤日常的な不安や悩みが相談できる場や人

全世代共通で、必要性を感じている。

☑ **農業従事者の80.9%が60代以上。**

将来的な農地の維持管理は大丈夫か？

☑ **70代になると自分で車を運転する人の割合が減少。**

- ▶ 送迎する側の負担は今後増加。送迎する側の人数減少により、日常生活での移動が困難になる人の数は、今後、確実に増加していく。

☑ **高齢者の移動支援は、今後の重要なテーマだという認識。**

- ▶ 大半が車の運転ができるため、「今は困っていない」状況。ただし、車の運転ができなくなると、日々の暮らしに困る人が急増することは確実。
- ▶ 30・40代（現在、高齢者を送迎している側）が比較的強く求めている傾向あり。

地域の人口構成を勘案すると、移動支援は今から準備すべき課題

☑ **全体の半数以上がインターネットを利用**

- ▶ 50代以下は約7割（40代以下は9割）がインターネットを利用しており、大半がスマホ・携帯での利用。

50代以下はインターネット経由での情報伝達の方が効果的?!

☑必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではないではない。

- ▶ 若者・中堅層と50代以上の女性は、「関心はあるが参加していない」の割合が高い。
- ▶ 「関心あり＋不参加」の理由の第1位は「余裕が無い」。こう回答した60代以下の7割以上がこれを理由にあげている。
- ▶ 「関心なし＋付き合いで参加」の理由では、第2位に「頼まれた」が来ている。
- ▶ 現状は50～60代、40代女性、70代男性が頑張っているので地域活動が回っている状態。

多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性があるのでは？

直接対話を通じて、さらに理由を深掘りしていくことが必要。

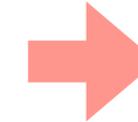
☑20～50代で土曜日が毎週休日なのは約3割、日曜日が毎週休日なのは約6割。約3割が日勤と夜勤の交代勤務という状況。

- ▶ この世代は、必ずしも土日・夜間が休みではない。

この世代の参加を求めらるのであれば、開催日設定の配慮が必要。

☑近所づきあいについては、4割が「悩みなし」。しかし、40～60代は「忙しすぎる」という割合が全体平均よりも高い。

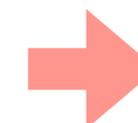
- ▶ 40～60代は、北部地区や自治会の活動について「忙しすぎる」と回答した割合が地区平均よりも高い。
- ▶ 60代に比べ、30～50代の人数は少ない。（30代は60代の6割ほどの人数）



人は減っているのに、役割・仕事は変わっていないければ、負担感が増すのは当然のこと。今後、さらに人の数は減っていくのに、このままの状況で大丈夫か？

☑役員世代は、もっと女性・若者の声を反映すべきと思っているものの、当事者はまだ半信半疑。

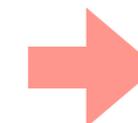
- ▶ 50～70代男性は「必要」という割合が高い。
- ▶ ただし、40代以下は「必要」と「わからない」がほぼ同じ割合。



まずは、開かれた対話の場・機会を設けていくことが必要。

☑地域全体の4割以上が、移住・定住者の受け入れが必要と考えている。

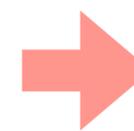
- ▶ 40代以下は男女ともに受入に対して肯定的。
- ▶ 50代以上は男性は必要性を強く感じているものの、女性はあまり感じていない。



次の世代は積極的な定住受け入れを求めている！

☑他地域との交流の必要性については、地域全体では約4割が「わからない」と回答。

▶ 年代・性別で、かなり意見が分かれている。



交流事業を行う場合は、機運醸成が必要。

☑地区全体では半数以上が「住み続けたい」と思っているが、40代以下はその割合が地域平均よりも低い。

▶ ただし、10代は半数が「わからない」と回答。



親世代意向が若年層の定住意向に影響している可能性あり。

☑地区全体では、4割以上が「自分の子どもにも住み続けてほしい」という回答している。ただし、子育て中の親世代は、その割合が低い！

▶ 特に30～50代の女性は「住み続けてほしいとは思わない」の割合が高い。（「住み続けてほしい」とほぼ同数）



次世代が地域への誇り・愛着を持ち、将来への希望を見いだせるような地域づくりは不可避。

☑5割以上が「地域に愛着がある」と回答しているが、子育て世代の愛着度は地区平均よりも低い。

▶ 「誇りに思う地域資源」についても、40代以下は「助け合いなどの社会関係」と回答した割合が地区平均以下。



☑暮らしの中の困りごとトップ5は、

- ①屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪
- ②健康面への不安
- ③農地や山林の維持管理
- ④医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる
- ⑤コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便

☑今後、重点的に取り組むべきテーマトップ5は、

- ①避難訓練・連絡体制など、防災活動
- ②見回りなど、防犯・交通安全活動
- ③買物・通院など、移動支援活動
- ④子育てなどの相談ができる場や人
- ⑤日常的な不安や悩みが相談できる場や人



困りごとの内容をさらに深掘りしていくことが必要。



ただし、世代によって上位にランキングされている内容は異なる。若年・中堅層は少数派であることを十分に認識し、丁寧に扱うことが求められる。